

令和4年度行政評価結果一覧

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

1 未来を担う人と文化を育むまち

(1) 輝く子どもを育むまちづくり

① 学びの環境の充実

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	学校教育施設を整備する		施策の総合評価	B	課題 方向性	引き続き安全で安心な教育環境の確保が求められる。			
			担当部	教育委員会					
構成事業事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事業事業名 (評価対象外)	小学校管理事業、中学校管理事業、幼稚園管理事業、小学校施設整備事業、中学校施設整備事業、幼稚園施設整備事業、学校教育施設整備基金事業、こども学習センター管理事業、教育委員会費事務経費、事務局費事務経費								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	教育の機会均等を確保する		施策の総合評価	A	課題 方向性	就学が困難な子どもたちに適切な支援を行うことで、誰もが等しく学べる機会が確保できているため、引き続き施策を実施していく。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
相生市奨学金事業	管理課	917,985	700,000	1,617,985	C	進学進級支度金額の改定が必要である。	C	物価高騰により進学時及び進級時における準備費用が増大しているため、進学進級支度金額の改定が必要である。
小学校通学費補助事業	管理課	581,390	305,210	886,600	B	誰もが等しく学べる機会を確保するため、引き続き実施する。	B	適応教室通学者も対象としており、現状を維持することが最適である。
中学校通学費補助関係事業	管理課	458,992	104,915	563,907	B	誰もが等しく学べる機会を確保するため、引き続き実施する。	B	適応教室通学者も対象としており、現状を維持することが最適である。
構成事務事業名 (評価対象外)	小学校特別支援教育就学奨励事業、中学校特別支援教育就学奨励事業、小学校要・準要保護児童就学援助事業、中学校要・準要保護生徒就学援助事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	子どもの育成環境の充実を図る		施策の総合評価		課題 方向性	施策の方針に沿った取り組みが推進できている。引き続き目標達成に向けて取り組みを進める。		
			A	担当部				教育委員会
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
放課後児童保育事業	生涯学習課	32,055,794	9,995,232	42,051,026	B	就労形態の多様化や、一人親世帯の増加等により、放課後児童学級のニーズは高まっている。保護者が安心して仕事と子育ての両立を図れるよう、引き続き学校と密に連携とり現在の体制の継続の維持を図る。	A	家庭を取り巻く社会状況が変化しており、放課後の子どもの居場所づくりが重要となっています。保護者が安心して働きながら、子育てと仕事の両立を図れるよう、放課後保育サービスの充実を実現していく。
学校支援地域本部事業	生涯学習課	1,450,120	222,800	1,672,920	A	学校の要望に応じ、地域住民が自らの経験や知識を活かして学校管理課化の教育活動の支援を行うもので、学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てる環境整備することは、地域の絆を強化を図る側面もあり重要である。	A	学校支援ボランティアは児童・生徒との触れ合いに満足感を得ることのでき、学校は支援を受けることで環境の整備が進んだり、よりきめ細やかな指導が可能になったりするなど、双方にとって有益であるため、今後も拡大を図っていく必要がある。
預かり保育事業	管理課	10,016,594	469,142	10,485,736	B	教育と子育ての両面において引き続き支援し、子どもたちを守り育てるまちづくりにつなげる。	B	多様化する保護者のニーズの把握に務め、事業を継続していく。
相生っ子学び塾事業	生涯学習課	3,697,878	2,646,565	6,344,443	B	基礎学力の定着と自学自習の姿勢の習得、誰もが等しく学べる機会の確保には継続した取り組みが不可欠であるが、安定的な講師の確保と、教科書の進度に沿った指導及び子どもニーズに合った指導が求められる。	B	子どもの将来性を育むためにも等しく学べる機会の確保は不可欠である。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	子どもの育成環境の充実を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	施策の方針に沿った取り組みが推進できている。引き続き目標達成に向けて取り組みを進める。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
青少年育成補助金事業	生涯学習課	305,995	125,000	430,995	B	学校・家庭・地域が一体となって、心豊かでたくましい子どもを育む環境の維持にはPTA活動が重要な役割を果たす。	B	子どもに対する教育・健全育成は社会要請であり、必要不可欠である。
青少年育成事業	生涯学習課	2,498,339	620,000	3,118,339	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策により、3年連続で国内交流事業は実施できなかったが、次々世代を担う青少年が集い、多様な経験を得ることのできる事業は、心豊かでたくましい子どもを育むには重要である。	B	子どもたちが、日常生活と違った文化を学習し、「須崎市の生活や文化に触れる体験」をさせ、異文化交流を体験することで、自分達が育った郷土に対する理解と関心を深め、郷土を愛する心を育てることが期待できる。
放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	3,409,794	1,423,757	4,833,551	B	放課後の子ども達の安全・安心な居場所づくりの推進のためには不可欠な事業である。また、学習の習慣づけや外遊びの見守りなどで、教育活動サポーターとして地域の方々に参画していただくことで、異年齢交流の側面も併せ持つ。	B	少子化や核家族化が進展し、地域社会での人間関係が希薄化しており、学校・家庭・地域のつながりの強化と教育力の向上は必要である。また、放課後活動だけでは、昔遊びや文化的な活動等までできていないが、サタデースクールで昔遊び・文化的な活動をサポーターだけでなく、市内全部の学校の児童との交流活動も含めて実施できている。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②知・徳・体の調和のとれた人材の育成

取り組み事項	確かな学力を育成する		施策の総合評価	A	課題 方向性	新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、感染症対策を行いながら事業実施できた。児童・生徒の学力向上のため、現状の把握・分析を継続して実施し、学力の定着、英語学習の充実を図る取組みを継続する。			
			担当部	教育委員会		施策からみた評価		事業単独でみた評価	
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	方向性	所見	方向性	所見	
外国人英語指導助手招致事業	学校教育課	3,206,236	1,154,740	4,360,976	B	生きた英語に触れることで、生徒の語学力やコミュニケーション能力を育成すると共に、異文化に対する理解を深め、英語力の向上が図られているため、継続して実施する。	C	年間配置計画に基づき、事業実施が出来たが、長期休業中等の期間に生徒との関わりが持てるような体制づくりの検討が必要である。	
ぐんぐん学力アップ事業	学校教育課	1,621,120	825,240	2,446,360	B	児童・生徒の学力を分析し、課題を把握することで、授業改善に活かすことができ、学力向上につながっているため、継続して実施する。	B	標準学力検査の結果により学力の状況を把握し、分析することで効果的な学習計画を図ることができている。評価と指導の一体化のために本事業は必要不可欠である。	
英語教育推進事業	学校教育課	1,988,968	7,223,700	9,212,668	C	幼児期から外国語に触れる機会を提供することで、英語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力を育成すると共に、異文化に対する理解を深め、英語力の向上が図られている。より英語検定試験が受けやすい環境整備し、実施していく必要がある。	C	幼児期から、外国語活動や外国語に触れる機会と使用する機会があることで、コミュニケーション能力を育成し、異文化に対する理解を深める場の提供が出来ている。また、英語検定試験を生徒が受験しやすくなるよう検討を行った。	
小学校外国語教育推進事業	学校教育課	2,998,098	15,968,700	18,966,798	B	幼児期から英語力の向上を図り、継続してコミュニケーション能力を育成すると共に、異文化に対する理解を深め、系統的に英語力の向上を図っているため、継続して実施する。	B	幼稚園に引き続き小学校低学年においても、外国語を通じた実践的なコミュニケーションを取る機会を設けることで、英語への興味や関心を育み、異文化に対する理解を深めることが出来ている。	
構成事務事業名 (評価対象外)	指定教育等研究研修事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	豊かな心を育成する		施策の総合評価		課題 方向性	子ども達の発達段階に応じて継続した取り組みが今後も必要である。また、生涯にわたり学習する基礎を培うために、地域人材を活かしながら、子どもたちの豊かな心の育成に取り組んでいく。		
			A	担当部			教育委員会	
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
小学校体験活動事業	学校教育課	1,682,972	6,630,000	8,312,972	B	集団活動や地域の人々との交流、自然、社会、芸術文化に触れる体験など、児童の発達段階に応じた体系的な体験教育の推進を図っており、豊かな心の育成に必要であるため、継続して実施する。	B	地域の特性を活かした体験活動や、自然学校を通じて児童が人や自然、地域社会と触れあうことができ、主体的に判断、行動し、問題解決する能力を高めることが出来ている。
心豊かな体験活動推進事業	学校教育課	1,912,469	1,803,000	3,715,469	B	トライやる・ウィーク事業等、地域人材を活かした幅広い体験学習を通じて、生徒の自尊感情、他人への思いやり、ふるさとを愛する心を醸成しており、豊かな心の育成が図れているため、継続して実施する。	B	希望職種を体験出来た生徒数は上昇傾向にあるが、目標値の達成には至らなかった。参加事業所を増やすだけでなく、生徒のニーズ等を把握する必要がある。
創意ある学校園づくり推進事業	学校教育課	1,376,977	2,000,000	3,376,977	B	校区の特色を活かした授業の実施は、豊かな心を育成するために有効であるため、継続して実施する。	B	身近な市内小学校間での合同授業や体験活動、Web会議システムを活用した交流等「多様な学びの場の創造」や、地域の伝統文化等を継承・発展させるための世代を超えた地域での交流を図るなど、「ふるさと教育の推進」を行い、創意工夫された体系的な教育活動の推進とふるさとを愛し次代を担う人材の育成に貢献した。
芸術文化活動振興事業	学校教育課	305,995	0	305,995	B	令和4年度対象者がいなかった。児童・生徒の文化活動の振興と向上を図るため、継続して実施する。	B	事業の体制整備及び周知徹底を行っているが、対象者がいないことから、事業の実施方法を検討しながら、継続していく。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	豊かな心を育成する		施策の総合評価	A	課題 方向性	子ども達の発達段階に応じて継続した取組みが今後必要である。また、生涯にわたり学習する基礎を培うために、地域人材を活かしながら、子どもたちの豊かな心の育成に取り組んでいく。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
人権教育事業	人権教育推進室	11,873,179	2,344,630	14,217,809	B	教職員に向けた人権教育の実践についての研修機会の充実や子ども達の発達段階と取り巻く状況に対応した取組みの継続に努める。	B	学校園の人権教育の推進に向け、情報発信、指導助言、研修の場の設定など、教職員への支援を充実させる。人権教育を核にした道徳教育の系統的な推進に向け、研修を充実させる。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	健やかな体を育成する		施策の総合評価	A	課題 方向性	給食を無料で提供し、「生きた教材」として活用することで、食育の推進を図り、望ましい食生活や食文化に対する知識を高めた。また、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、健康な体づくりに取り組んだ。			
			担当部	教育委員会					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
学校給食運営事業	学校教育課	148,828,781	124,887,944	273,716,725	B	幼稚園から栄養バランスのとれた学校給食を無料で提供することで、学校給食を食育の「生きた教材」として活用することができ、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を見につけさせ、健やかな体を育成することができているため、継続して実施する。	B	地場産品を給食へ多く取り入れることで、食育の推進を図り、家庭や地域と連携しながら食育に取り組むことができた。物価高騰しても質の保たれた給食を提供する必要がある。	
クラブ活動運営事業	学校教育課	1,759,471	2,110,030	3,869,501	C	部活動を通して、体力の増進、協調性、創造力の高揚を図ることが出来ている。また、部活動指導員を配置することで、顧問の負担軽減と指導の充実を図ることが出来ている。来年度より部活動の地域移行に関する検討を進める。	C	部活動の加入率について、部員数の減少が続く中、持続可能な運営体制について、地域移行も含め安定した部活動を実現するための検討が必要である。	
学校体育振興事業	学校教育課	2,324,256	5,156,460	7,480,716	B	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、学校における児童・生徒の体力・運動能力向上のため、校内マラソン大会や運動部活動の体育大会への参加等の取組みを行っており、継続した事業実施が必要である。	B	中学校総合体育大会の円滑な運営や、各種大会への参加支援をすることで、運動しやすい環境づくりができ、生徒の体力向上を図れている。	
構成事務事業名 (評価対象外)	児童・生徒等健康管理事業、ペーロン祭協賛球技大会事業、学校医等委嘱事業、学校健康センター事業、感染症対策事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	学びを支える体制の充実を図る		施策の総合評価		課題 方向性	教職員の資質と実践的な指導力の向上のため、教職員の経験に応じた各種研修講座を実施し、授業実践に活かすことで、分かる授業や子ども一人ひとりの持ち味を活かす教育の推進を図った。		
			A	担当部			教育委員会	
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
適応教室事業	学校教育課	5,388,515	207,311	5,595,826	B	不登校対策の施設として適応教室「コスモス教室」が、個々の実態に即した支援を行い、学校への復帰や社会的自立に向けて本事業は必要であり、継続して実施する。	B	子どもや保護者からの相談を受け、一人ひとりの特性や家庭環境を考慮しながら、学校への復帰や社会的な自立に向けた適切な支援を行うことが必要である。
相生っ子かがやき顕彰事業	学校教育課	474,292	28,540	502,832	B	権威ある大会等において、成績が顕著な中学生以下の者に相生っ子かがやき顕彰を贈呈することで、児童・生徒のスポーツや文化芸術に親しむ心の向上を図っており、継続して実施する。	B	受賞者について、市ホームページや、広報等を活用し、より多くの人へ情報提供できるよう努め、受賞だけでなく、市民や他の児童生徒のスポーツ及び文化芸術の推進が図れた。
教育研究所運営事業	学校教育課	3,512,232	843,829	4,356,061	B	教職員の資質と実践的指導力の向上のため、教職員の経験に応じた各種研修講座を実施しており、授業実践に活かしているため、継続して実施する。	B	研修内容や研究部会の内容を日々の授業に活用することができている。新型コロナウイルス感染症の影響で全体会が中止となったが、オンラインも含め、今後の研修内容等の検討を行う。
相生市小中一貫教育推進事業	学校教育課	1,529,975	32,059	1,562,034	B	令和4年度は、研修会を実施し中学校区の連携を深めることが出来た。より充実した教育活動を展開するため、幼稚園から中学校までの12年間を見通した体系的な取組みが必要であり、本事業を継続して実施する。	B	中学校区の連携を進める取組みが出来た。幼・小・中学校が一貫性を持った教育を推進するために本事業は必要不可欠である。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	学びを支える体制の充実を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	教職員の資質と実践的な指導力の向上のため、教職員の経験に応じた各種研修講座を実施し、授業実践に活かすことで、分かる授業や子ども一人ひとりの持ち味を活かす教育の推進を図った。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
青少年健全育成活動事業	学校教育課	5,071,319	4,021,663	9,092,982	B	青少年健全育成市民大会を開催し、家庭・地域・学校の連携を深めるなど、青少年の問題行動の未然防止や不審者等からの子ども見守り、青少年の健全な育成を図っており、継続して実施する必要がある。	B	幅広い分野や各地域から委員を選任し、青少年の健全育成に努めている。 また、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、青少年健全育成大会を開催し、家庭・地域・学校の連携をより深めることが出来ている。
構成事務事業名 (評価対象外)	小学校教育振興費事務経費、中学校教育振興費事務経費、教育統計調査事業、教育指導費事務経費、矢野・若狭野小学校交流事業、青少年問題協議会運営事業、補導委員活動事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(2) 誰もが楽しく学べるまちづくり
 ① 社会教育環境の充実

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	文化芸術の振興を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	コロナ禍も徐々に落ち着き市民の芸術文化活動も活発になりつつある。引き続き、文化芸術の担い手である市民が安心して活動できる環境の確保に努める。		
	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
文化振興補助 金事業	生涯学習課	688,488	590,000	1,278,488	B	ここ数年、相生市文化協会に新規に加入する団体がある。引き続き、相生市文化協会への運営補助を行い、市民の自主的な文化活動を支援するとともに、芸術文化活動助成事業により個人及びグループの発表の機会の充実を支援する。	B	団体数、会員数ともに毎年増加しているため、今後も継続して新規団体の入会を推進するとともに、活発な芸術文化活動を促進していく。
スポーツ・文化 芸術顕彰事業	生涯学習課	229,496	103,710	333,206	B	引き続き、優れた取組みに対し顕彰を行い、市民の芸術文化活動への関心を高める。	B	今後も継続し、文化活動を行う者の一目標としていく。
文化振興事業	生涯学習課	6,580,481	2,534,204	9,114,685	C	文化芸術の担い手である市民の創造性や豊かな感性を育み、文化意識の向上を図るために、文化祭・美術展を開催することは不可欠であるが、発表者にとって、より満足度の高い事業となるよう改善を加える必要がある。	C	文化協会の団体数が増えたことで、文化祭に参加希望の団体が増えたことから、開催方法や開催時期について検討した上で事業を進めていく必要がある。
相生市文化会 館管理運営事 業	生涯学習課	18,688,100	98,901,596	117,589,696	B	引き続き、幅広い年代の方々を対象に鑑賞と発表の両面から多彩な自主事業を計画し、市民が文化芸術に触れる機会の充実を図る。 また、計画的な維持修繕により、市民が快適に過ごすことができる施設の維持に努める。	B	幅広い世代が参加できる事業を創出しながら、親しみのある会館運営を継続していくとともに、中長期修繕計画に基づいた会館設備の更新を行うことで利用者にとって安心安全な会館を目指していく。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	文化芸術の振興を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	コロナ禍も徐々に落ち着き市民の芸術文化活動も活発になりつつある。引き続き、文化芸術の担い手である市民が安心して活動できる環境の確保に努める。					
			担当部	教育委員会							
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価			
					方向性	所見	方向性	所見			
文化財事業	生涯学習課	1,549,383	1,357,540	2,906,923	C	学芸員の採用を計画していたが採用に至らなかった。引き続き、学芸員の採用に努めるとともに、特別展や歴史講座の開催により、ふるさと相生の歴史文化に理解と愛着を深め、ふるさと相生への愛着を育むことができるよう努める。	A	特別展や歴史講座を開催し、市民がふるさと相生の歴史文化に理解と愛着を深め、ふるさと相生への愛着を育むことができるよう努める。			
資料館管理事業	生涯学習課	2,229,664	11,501,483	13,731,147	A	長年の懸案事項であった、空調設備の設置が完了した。引き続き、貴重な資料が適切に保存することが出来る環境と来館者が快適に見学できる環境の維持に努める。	A	施設の計画的な維持修繕を行うとともに展示資料の適切な保存ができる環境を整えることで、郷土の歴史文化の啓発の充実に努める。			
スポーツ・文化芸術顕彰事業	体育振興課	1,988,968	0	1,988,968	B	引き続き、功績に対し顕彰を行い、市民のスポーツ活動への関心を高める。	B	功績に相応した顕彰を贈呈していく。			
構成事務事業名 (評価対象外)											

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	人権啓発活動を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	人権問題が多様化・複雑化する中で、市民向けの学習会、啓発事業、情報誌の発行は適切な手法と言える。年間を通じての市民人権学習会の実施、推進強調月間や人権週間等に合わせたイベントの開催、年4回にわたる情報誌の発行等、時期・対象を考慮した効率的な方法を選択できている。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
人権啓発事業	人権教育推進室	7,820,604	4,927,299	12,747,903	C	市民が参加しやすい環境を整え、新しい人権問題をはじめ、さまざまな人権課題について考えるとともに、学びを通して人と人とのつながりの大切さについても再認識し、住民間の絆をさらに深める機会とする。今後も関係課室と連携し、啓発活動を推進していく。	B	新型コロナウイルス感染症の影響で、参加人数が減少した事業もあったが、概ね予定通り開催することができた。今後、より一層事業の充実を図り、市民の人権意識の醸成に努めたい。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	生涯学習環境をつくる		施策の総合評価	B	課題 方向性	コロナ禍も落ち着き学習活動も徐々に活発化しているが、コロナ前の水準まで回復していない。		
			担当部	教育委員会				
構成事業事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
公民館活動事業	生涯学習課	11,776,183	4,872,404	16,648,587	C	地域における学習活動の拠点として、ライフステージや時代のニーズに応じた講座を開設するとともに、地域コミュニティの拠点として同好会活動の活発化に努める。	C	地域に対し公民館が募集している講座等をPRし、住民の文化活動を支えていく。
多目的研修センター活動事業	生涯学習課	2,768,329	824,602	3,592,931	C	地域における学習活動の拠点として、ライフステージや時代のニーズに応じた講座を開設するとともに、地域コミュニティの拠点として同好会活動の活発化に努める。	C	地域住民の文化的な活動を支援するため拡大していく必要がある。
高齢者教育事業	生涯学習課	2,649,658	1,253,860	3,903,518	C	定年延長や学習手段の多様化などで、金ヶ崎学園大学の受講者数は減少傾向にあるが、集団で新たに学ぶ機会を通じて自己を高めるだけでなく、地域社会の一員として豊かな知識と経験を活かせる取組む必要がある。	B	高齢者の多様な学習活動、スポーツ、レクリエーション活動などの充実を図る。
構成事業事業名 (評価対象外)	社会教育事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	利用者頻度が高く、老朽化が進んでいる施設については、整備改修計画により施設の修繕を行う必要がある。 レクリエーションスポーツが市民にとって生きがいとなるよう、更に普及推進に努める。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
市民体育館管理運営事業	体育振興課	2,762,072	22,408,923	25,170,995	B	施設の良い状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるよう意識をもって管理していく。	B	施設の良い状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるよう意識をもって管理していく。
市民プール管理運営事業	体育振興課	611,990	6,246,200	6,858,190	B	指定管理者と連携をとりながら今後も適正管理に努めていく。	B	指定管理者と連携を取りながら今後も適正管理に努めていく。
市民グラウンド管理運営事業	体育振興課	2,856,482	9,179,164	12,035,646	B	使用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の節減に努める。	B	使用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の節減に努める。
温水プール管理運営事業	体育振興課	2,294,963	21,757,354	24,052,317	B	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理運営を進める。	B	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理運営を進める。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	利用者頻度が高く、老朽化が進んでいる施設については、整備改修計画により施設の修繕を行う必要がある。レクリエーションスポーツが市民にとって生きがいとなるよう、更に普及推進に努める。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
社会体育振興事業	体育振興課	5,133,534	2,010,469	7,144,003	B	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開していく。事業委託料が大半を占めており、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。	B	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開していく。
ジュニアスポーツ振興事業	体育振興課	5,009,830	1,626,390	6,636,220	B	子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。事業委託料のみであり、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。	B	子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。
レクリエーションスポーツ振興事業	体育振興課	6,197,987	3,290,982	9,488,969	B	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。	B	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。事業委託料のみであり、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。
スポーツ教室事業	体育振興課	634,753	799,500	1,434,253	B	スポーツを気軽に楽しめる機会と場を通じて、健康及び体力の保持のみならず、自分もできるという経験から自信が生まれ、また、人と人の触れ合いから仲間意識や人の温かみを感じる機会が生まれる。	B	当事業は費用対効果に優れた事業である。スポーツ人口の裾野の拡大や市民が気軽にスポーツに親しむ契機となるよう、当事業の継続が必要である。
構成事務事業名 (評価対象外)	社会体育費事務経費、相生市スポーツ推進委員事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

2 安心して暮らせる、強くなやかなまち
 (1)安全で安心なまちづくり
 ①安心して暮らせるまちづくりの推進

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	交通安全の普及・啓発を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	全国交通安全運動期間を中心に、子ども又は高齢者を対象とした交通安全教室や、街頭キャンペーンを行い、交通安全意識の普及に努めた。交通事故発生件数も年々減少し、成果として表れている。	
	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)		方向性	所見
交通安全推進啓発事業	危機管理課	1,733,351	5,204,005	6,937,356	B	市民の交通安全意識の醸成を図るため、引き続き実施する。	B 交通安全教室やキャンペーン等の交通安全に関する啓発活動を引き続き実施するとともに、市民へ広く広報できる新たな取組みも検討する。
交通安全協会負担金事業	危機管理課	911,454	270,000	1,181,454	B	効果的に交通安全教室や交通キャンペーンを実施するため、継続して行う。	B 今後も警察、安全協会と市が連携し、効果的な交通安全教室、自転車教室の実施を継続するとともに、新たな取組みについても検討する。
放置自転車対策事業	危機管理課	528,960	700	529,660	B	放置自転車が減少傾向にある現在の状況を注視しつつ、継続して実施する。	B 駅前を中心とした自転車駐輪場の整備が進み、放置自転車も年々減少しているが、日々のパトロールが重要である。
構成事務事業名 (評価対象外)							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	防犯対策の充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	自治会による防犯設備設置支援として、防犯カメラ5台、防犯灯64台の設置補助を行った。地域における犯罪防止のため、引き続き、防犯環境整備の啓発と支援を行う必要がある。			
			担当部	企画総務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	地域防犯設備設置補助金交付事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②防災力の強化

取り組み事項	災害への備えの充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	災害時の指定避難所用として、感染症対策用備品の整備を進めた。平時における防災対策は、今後も感染症の流行を見極め、状況に応じた対応が必要となる。		
			担当部	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
安全安心のまち推進事業	危機管理課	1,057,922	1,363,640	2,421,562	B	市民の継続的な防犯意識の醸成を図るため、引き続き実施する。	B	防犯カメラについて、幹線道路や公共スペースへの設置を防犯協会が行い、安全安心なまちづくりを行うことができている。また、高齢者を対象とした簡易型自動録音機の配布及び自動録音機購入補助を行い、特殊詐欺防止対策を図った。
防災訓練事業	危機管理課	808,927	0	808,927	B	災害時に一人ひとりが命を守る行動をとることができるよう、防災力の向上を図るため、継続して行う。	B	新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、大人数が集まる活動を積極的に実施できていない。今後は図上訓練など、少人数単位で可能な訓練が有効となる。
自主防災組織事業	危機管理課	838,220	91,984	930,204	B	地域における防災意識を高め、相互に助け合うことができる関係性の構築を図るため、引き続き実施する。	B	訓練助成を活用する自主防災組織も年々減少し、例年同じ組織が取り組んでいる状況から、他地域も活動を促進するための周知・広報活動が必要である。
構成事務事業名 (評価対象外)	防災事業、水防業務経費							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	非常備消防体制の強化を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	消防団の運営・施設整備に関しては、適正に維持管理を行い、運営を図ることが出来た。 西はりま消防組合との合同訓練を実施し、連携強化を図ることが出来た。 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や規模縮小となった事業の再開のため、調整を図る必要がある。		
			担当部	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
相生市消防殉職者追悼事業	危機管理課	1,147,481	193,500	1,340,981	F	令和4年開催で、殉職者が没後50年の節目を迎え、本事業が終了との判断を行った。	F	令和4年開催で、殉職者が没後50年の節目を迎え、本事業が終了との判断を行った。
構成事務事業名 (評価対象外)	消防団活動事業、消防団運営事業、消防操法大会等事業、消防施設整備事業、消防自動車等購入事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

3 健やかな暮らしを守り支え合うまち
 (1)互いに支え合う福祉のまちづくり
 ①地域福祉活動の充実

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域福祉の体制づくりと活動を支援する		施策の総合評価		課題方向性	新型コロナウイルス感染症の影響は少なくなってきており、今後も継続して、各施策を実施することで地域福祉力を維持していく必要がある。			
			B	健康福祉部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
戦没者遺族等 団体活動補助 事業	社会福祉課	611,990	150,000	761,990	B	戦争の惨禍と平和の尊さを次世代に引き継いでいくためにも、遺族会を支援し、存続させていくことが必要である。	B	戦争の惨禍と平和の尊さを次世代に引き継いでいくためにも団体支援は必要である。	
地域自殺対策 緊急強化事業	子育て元気課	229,496	309,380	538,876	B	自殺者の増加は避けなければならない、自殺を未然に防ぐための事業として認められるため、継続していく必要がある。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会やゲートキーパー研修等実施出来ていなかったが、今年度は感染拡大状況を考慮した時期に、感染対策徹底の上実施出来た。自殺を未然に防ぐことは重要であるため今後も継続実施が必要である。	
総合福祉会館 管理運営事業	社会福祉課	3,365,945	33,274,994	36,640,939	B	地域福祉活動の拠点としての機能を維持するためにも、今後も総合福祉会館を適正に管理運営していく必要がある。	B	地域福祉活動の拠点としての機能を維持するためにも、今後も総合福祉会館を適正に管理運営していく必要がある。	
老人いこいの 家等管理事業	長寿福祉室	458,992	1,690,054	2,149,046	B	現在は新型コロナウイルス感染症の影響により利用人数はコロナ禍前よりは減少傾向にあるが、施設は地域住民の貴重な交流の場の一つであるため、今後も適切に管理していく。	B	新型コロナウイルス感染症拡大により、利用人数は減少傾向にあるが、コロナ禍以前の利用人数を目標とし、利用促進を図るため、適切な管理に努める。	

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域福祉の体制づくりと活動を支援する		施策の総合評価	B	課題 方向性	新型コロナウイルス感染症の影響は少なくなってきており、今後も継続して、各施策を実施することで地域福祉力を維持していく必要がある。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
生きがい交流センター管理運営事業	長寿福祉室	1,529,975	12,546,826	14,076,801	B	現在は新型コロナウイルス感染症の影響により利用人数はコロナ禍前よりは減少傾向にあるが、高齢者の心身の健康被害を防ぐためにも、より利用者のニーズに合った講座の実施等により、適切に管理運営をしていく。	B	コロナ禍以前の年間利用者数に戻すことを目指し、より利用者のニーズに合った講座実施に向けて、緻密な年間計画を立てるなど、生きがい交流センターの管理者と連携を図る。
構成事務事業名 (評価対象外)	戦没者遺族等援護事業、更生保護活動補助事業、民生児童委員運営事業、社会福祉協議会活動事業(社会福祉)、老人福祉センター管理事業、社会福祉総務費事務経費(社会福祉)、社会福祉法人指導監査事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域福祉のセーフティーネットを推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	新型コロナウイルス感染症の影響が不透明ななか、今後もの確な相談指導により、適正・的確な各制度の運用を実施していく。			
			担当部	健康福祉部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
行路困窮者取扱事業	社会福祉課	1,759,471	19,500	1,778,971	B	今後も一定数が見込まれる行路困窮者への救済措置は必要であり、現状のまま継続とする。	B	行路困窮者への一定の救済措置は必要である。	
災害見舞事業	社会福祉課	229,496	100,000	329,496	B	自然災害被災者への第一次支援は市として実施すべきである。	B	自然災害被災者の救済のためにも、第一次支援は必要である。	
構成事務事業名 (評価対象外)	生活保護受給者就労支援事業、生活困窮者自立相談支援事業、行旅死亡人取扱事業、生活保護適正実施推進事業、生活保護事業、生活保護総務費事務経費								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(2)障害のある人が安心して暮らせるまちづくり
 ①地域生活支援の充実

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	社会参加を支援する		施策の総合評価	B	課題 方向性	基幹相談支援センターにおいては相談件数が増加しており、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関となっている。引き続き、多様化するニーズに対応し、必要な支援が行えるよう、機能強化を図る。また、地域生活支援における様々なメニューを充実させることで、社会参加の促進を図る。			
	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)		方向性	所見	方向性	所見
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
成年後見制度 利用支援事業	社会福祉課	1,912,469	300,204	2,212,673	C	成年後見制度は、親族等がない障害のある人が、安心して本人らしい生活が続けられるよう、権利を守り、支援するために必要な制度である。引き続き、関係機関と連携を図りながら、啓発活動及び理解促進を行う。	C	関係機関等との連携により、後見人が必要と思われる人の申立てを行うことができています。引き続き、他の障害福祉サービスの利用状況や相談機関等との連携を図るとともに、継続的な啓発活動が必要である。	
障害者団体等 補助事業	社会福祉課	382,493	450,000	832,493	B	障害のある人の社会参加や自立した生活の促進のため、当事者やその家族等の団体は障害者福祉の向上のために重要な役割を担っており、引き続き、各団体の活動を支援する。	C	各団体が安定的に自主活動を行えるよう、引き続き支援し、理解促進事業の発展につなげる。	
矢野あいあい センター管理事 業	社会福祉課	382,493	1,599,516	1,982,009	C	地域における福祉活動と障害者自立支援の活動拠点を担う施設として、安全確保に努めながら継続して事業を実施する。今後は、地域の福祉活動の場としても利用促進に努める。	C	老朽化による変状が顕在化しつつあるが、安全確保に努め状況を注視しながら事業を実施する。障害のある人の日中活動の場としてだけでなく、目的の一つである交流の場としての活用の仕方を検討する。	
構成事務事業名 (評価対象外)	障害者地域生活支援事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	障害福祉サービスを充実する		施策の総合評価		課題 方向性	障害のある子どもが対象となるサービスのニーズが年々増加しており、適切にサービス提供ができる体制を確保するとともに、学校や幼稚園等を始め、各種関係機関とのより一層密な連携を図り、確実な支援を行う。		
			B	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
重症心身障害者福祉年金支給事業	社会福祉課	764,987	15,940,800	16,705,787	C	様々な障害者施策が実施されている中で、障害のある人が安心して地域で生活できるための事業として、本事業の貢献度について検証の必要がある。対象者の現状や、近隣の動向を確認しながら、制度を見直す時期であると考え。	C	本事業は、障害のある人への手当等がなかった時代に、生活向上と更生、福祉の増進を目的として開始した経緯がある。現在は、障害年金制度が創設され、様々な障害者施策が実施される等、障害福祉サービスの充実が図られている。今後は対象者の状況を調査し、制度の見直しを検討する。
身体障害者福祉基金事業	社会福祉課	382,493	429,825	812,318	C	近年、実績がない状態が続いている。制度を必要とする人に情報が行き届くよう、制度周知を徹底する。また、基金の活用方法についての見直しが必要である。	C	福祉の増進を図ることを目的とし、身体に障害のある人の移動手段の拡大と経済的負担の軽減につなげる事業であるが、実績なしが続いているため、基金の活用方法についての見直しは必要である。
心身障害児就学奨励金支給事業	社会福祉課	382,493	408,000	790,493	C	障害のある子どもたちの就学会と経済的負担軽減の一助となっているが、近隣の状況も加味しながら、制度内容の見直しも必要である。	B	子どもたちが安定した学校生活を送るための一助となっており、引き続き関係機関と連携することで、対象者を的確に把握し、適正な執行を行う。
心身障害者扶養共済制度施行事業	社会福祉課	764,987	15,973	780,960	B	現在の対象者には、引き続き適正な執行に努め、扶養共済制度及び当該助成事業について、周知を行う。	B	受給者数が少ないため、障害のある人の保護者に共済制度及び当該助成事業の周知を行う必要がある。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	障害福祉サービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	障害のある子どもが対象となるサービスのニーズが年々増加しており、適切にサービス提供ができる体制を確保するとともに、学校や幼稚園等を始め、各種関係機関とのより一層密な連携を図り、確実な支援を行う。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
心身障害児(者)歯科診療事業	社会福祉課	382,493	2,923,000	3,305,493	C	障害のある人の歯科診療の機会を確保するために、事業継続すべきである。制度を必要とする人が確実に利用できるよう、広く制度する手法等は検討が必要である。	C	一般の歯科医院を治療を受けることが困難な障害のある子ども等が、適切な歯科診療を受けることができるよう、支援を継続する。今後は、広く制度を周知する手法等の検討も必要である。
在宅重度心身障害者(児)等福祉事業	社会福祉課	636,340	624,902	1,261,242	C	障害のある人の移動手段を確保し、行動範囲の拡大をのぞめる事業であり、社会参加の促進につながるため、継続とする。一方で、他の移動手段のニーズがないかなど、本当に必要とする支援が何であるかの検証は必要である。	C	タクシーの利用助成を図ることは、障害のある人の移動手段の確保や行動範囲の拡大、社会参加の促進において一定の効果があると考えられる。一方で、利用券の枚数や助成対象などについては改善の余地がないか検証の必要がある。
軽・中度難聴児補聴器購入費助成事業	社会福祉課	229,496	0	229,496	C	軽・中度難聴児の補聴器装用に係る他の助成制度はなく、早期治療の観点からも、本制度は有効である。引き続き、関係機関と連携し、制度の周知を図る。	C	補聴器の装用により、言語の習得、教育等における健全な発達を支援するものであり、現状のまま継続する。対象者の把握が困難であるが、学校等と連携し、制度周知を図る必要がある。
障害者等住宅改造事業	社会福祉課	229,496	0	229,496	C	近年、実績がない状態が続いている。制度を必要とする人に情報が行き届くよう、制度周知を徹底する。	C	住み慣れた住宅での生活を希望する障害のある人が、住宅改造により自立した生活を送ることの一助となる制度であるが、数年にわたり実績がない状態が続いている。制度を必要とする人に情報が行き届くよう、更なる制度周知が必要である。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	障害福祉サービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	障害のある子どもが対象となるサービスのニーズが年々増加しており、適切にサービス提供ができる体制を確保するとともに、学校や幼稚園等を始め、各種関係機関とのより一層密な連携を図り、確実な支援を行う。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
野の草園管理 事業	社会福祉課	1,147,481	302,500	1,449,981	C	障害のある人の日中活動を支援する施設であり、市の障害者福祉の増進に寄与する施設である。施設の安全性が保たれ、利用者が安心安全に利用できるよう、指定管理者と協議しながら適正な運営管理に努める。	C	指定管理者により、専門性を活かした高いサービスが提供されているが、利用者が減少しているため、サービスが必要な人の掘り起こしを検討するとともに、施設の安全性が保たれるよう、適正な維持修繕等について管理者との協議が必要である。
構成事務事業名 (評価対象外)	障害者自立支援事業、特別障害者手当等支給事業、重度心身障害者(児)介護手当支給事業、障害福祉計画等策定事業、障害児通所給付支給事業、障害者福祉費事務経費							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(3) 子育てしやすいまちづくり
 ① 子育て環境の充実

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	母子保健対策を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	多岐にわたる子育て世代の相談内容に応じ、各関係部署及び関係機関と連携することにより、相談内容を解消することができた。引き続き体制を維持し、必要な支援を適切に行っていく。			
			担当部	健康福祉部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
妊活カップル応援事業	子育て元気課	314,764	4,732,774	5,047,538	B	高度な不妊治療に要する費用を一部助成することで、赤ちゃんの誕生を望む家庭の積極的な治療を応援し、妊娠数の増につなげるため、継続実施をしていく。	B	一部の医療機関から県及び市の助成制度について周知されており、関係機関との連携によりサービスは定着している。引き続き、必要とする者が当制度を利用できるよう啓発を行うとともに、関係機関とさらに連携しながら事業を実施する。	
妊婦歯科健康診査実施事業	子育て元気課	337,713	162,000	499,713	B	妊婦及び生まれてくる子の口腔衛生の向上につながることから、継続実施していく。	B	妊娠中の歯科健診の重要性を伝え、受診しやすい環境を整えることで妊婦及び生まれてくる子の口腔衛生の向上につながる。妊娠届出時の同時交付で全妊婦へ直接対応できており効率的である。受診率向上へ向けて取組み内容を検討し、今後も継続実施する。	
子育て世代包括支援センター事業	子育て元気課	6,722,005	20,352,579	27,074,584	B	妊娠届出時にきめ細かな面談を行うことにより、妊娠期、出産、子育て期とそのステージに応じた対応等を行うことが出来ている。今後も安心して子育てができるよう寄り添った支援を引き続き実施していく。	B	母子手帳交付時の面接で保健師が妊婦の健康状態など確認し支援の有無などを把握できている。妊娠期から関わっているため、産後も関係を築きやすく、支援の必要な事例については漏れなく支援を実施できた。	
構成事務事業名 (評価対象外)	育児等健康支援事業、妊婦健康診査等補助事業、母子保健相談指導事業、乳幼児健康診査等事業、未熟児養育医療給付事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	施策の総合評価		B	課題 方向性	関係機関との連携により、支援が必要な家庭の早期発見・早期対応を行えた。また、育児期における親の孤立感を軽減し、育児不安を解消するとともに、虐待を未然に防止するため、2歳児家庭を訪問することで、要支援家庭等を早期に発見し、関係機関と連携し必要なサービスにつなげることができた。引き続き、支援が必要な家庭の早期発見・早期対応に努めていく。			
	子どもへの虐待防止対策を推進する	担当部			健康福祉部			
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
子育て家庭支援訪問事業	子育て元気課	305,995	546,000	851,995	B	支援が必要な家庭を的確に発見し、必要なサービスや機関につなげるため、引き続き実施していく。	B	引き続き、支援が必要な家庭を的確に発見し、必要なサービスや機関につなげる必要がある。
家庭児童相談室運営事業	子育て元気課	1,142,448	264,000	1,406,448	B	児童虐待の防止や支援を必要とする家庭のための重要な窓口として、引き続き保護者等からの相談を受け、関係機関との連携をさらに強化する。	B	家庭環境や時代背景などにより多種多様な相談が増加しており、関係機関と更なる連携が必要である。
構成事務事業名 (評価対象外)	要保護児童対策事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	ひとり親家庭などの自立を支援する		施策の総合評価	B	課題方向性	ひとり親家庭の自立において、子育てにかかる相談業務や資格取得の補助は重要であるため引き続き事業を実施していく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
社会福祉総務費事務経費(子育て)	子育て元気課	0	50,000	50,000	B	母子家庭や寡婦等の情報交換等の場として引き続き実施していく。	B	母子家庭や寡婦等の情報交換等の場として必要であり、広報等により更なるPRが必要である。
交通遺児激励事業	子育て元気課	76,498	80,000	156,498	B	交通遺児が新たに発生することは喜ばしいことではないが、新たに発生した場合には激励金を速やかに支給することで、引き続き対象児童及びその家庭の経済的支援を行う。	B	受給者数が増えることは好ましいものではないが、新たに対象となる者に対し、漏れなく支給出来るよう努めていく。
母子家庭等自立支援給付金事業	子育て元気課	1,204,390	63,145	1,267,535	B	ひとり親家庭の就業を促進し自立を促す。	B	母子・父子自立支援員の就労相談や児童扶養手当の現況届け提出時の就労状況の確認等、当該事業の活用に結び付く体制を構築し、引き続き母子・父子家庭の母及び父の就労支援を促進する。
構成事業名 (評価対象外)	母子父子福祉費事務経費							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②子どもの健やかな発育の支援

取り組み事項	多様な保育サービスの充実を図る		施策の総合評価	C	課題 方向性	保育士確保や保護者の経済的負担軽減のため引き続き適切に事業を実施していく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
利用者負担額補助事業	子育て元気課	994,484	2,773,800	3,768,284	B	引き続き実施していくことで、対象となる世帯の経済的負担の軽減を図る。	B	引き続き実施していくことで、対象となる世帯の経済的負担の軽減を図る。
保育士等就業支援事業	子育て元気課	229,496	500,000	729,496	C	事業の周知を徹底することで、保育士確保を推進し、待機児童解消を目指していく。	C	引き続き事業を実施することで、保育士確保を推進し、待機児童解消を目指していく。
副食費補助事業	子育て元気課	917,985	7,864,800	8,782,785	B	引き続き実施することで、保護者の経済的負担の軽減を図る。	B	保育料無償化の対象とならない副食費部分を補助することで、効果的な補助を実施出来ている。
保育対策総合支援事業	子育て元気課	0	0	0	E	活用しやすい制度とするため、補助要件を見直し、より実効性のある事業を目指す。	E	現在の事業は国庫補助の要件のため、利用のためのハードルが高いため、財源も含め別の手法を検討する必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	保育所管理運営委託事業、保育所等運営事業、特別保育補助事業、保育所施設整備事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	子育て支援サービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	各種事業について、新型コロナの影響等により減少傾向ではあるものの、子育て中の保護者の交流の場や、家庭や地域の子育て力の向上、出産に対する祝福など、重要な事業であるため、引き続き実施していく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
子育て情報提供事業	子育て元気課	764,987	377,784	1,142,771	B	子育て家庭の支援を図るため、引き続き適切に子育て関連の情報提供等を実施していく。	B	子育て中の親に、仲間づくりや情報交換が出来る地域の拠点や子育て関連情報の提供を行い、子育て支援を推進出来ている。
子育て学習活動推進事業	子育て元気課	2,499,745	716,376	3,216,121	B	地域の子育て拠点として市の中心的な役割を果たしており、引き続き現在の体制を維持し実施していく。	B	新型コロナウイルス感染症の影響も減少し、徐々に事業回数も増加しており、引き続き相談内容に合った支援や関係機関につなげる必要がある。
修学旅行援助事業	子育て元気課	76,498	147,000	223,498	B	適切に対象者に支給が出来ており、引き続き現在の体制を維持し実施していく。	B	要保護、準要保護世帯の児童が安心して修学旅行に参加できる環境を整えるため、現在の支給額等を維持し、引き続き支援を実施していく。
子供の遊び場等設置補助事業	子育て元気課	76,498	0	76,498	B	利用実績が無い年度もあることから自治会等に制度周知を行い、引き続き実施していく。	B	自治会等に対し制度周知を行い、子どもの遊び場の確保のため引き続き実施していく。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	子育て支援サービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	各種事業について、新型コロナの影響等により減少傾向ではあるものの、子育て中の保護者の交流の場や、家庭や地域の子育て力の向上、出産に対する祝福など、重要な事業であるため、引き続き実施していく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
ファミリーサポートセンター事業	子育て元気課	1,541,175	482,549	2,023,724	B	仕事と育児を両立できる環境の整備や地域子育て支援を行い、引き続き保護者等や児童の福祉の増進を図る。	B	引き続き事業を継続していくことで、仕事と育児を両立できる環境の整備や地域子育て支援を行い、保護者等や児童の福祉の増進を図る。
子育て応援券交付事業	子育て元気課	449,197	1,861,260	2,310,457	C	利用実績としては任意の予防接種が大半を占めているが、予防接種の状況により利用実績が大きく影響を受けるため、利用できるサービスの見直しを含め、事業の在り方を検討する。	C	利用できるサービスの見直しを含め、事業の在り方を検討していく必要がある。
出産祝金支給事業	子育て元気課	2,561,869	13,403,000	15,964,869	C	2号祝金については、市全体の子育て支援対策を見直し・検討し、令和5年4月1日以降に第三子を出生した場合の第2号祝金の支給は廃止とすることとする。引き続き出生児誕生世帯を祝うことで定住を促進していく。	C	1号祝金、2号祝金とも適切に支給出来ている。引き続き適切な支給に努め、定住促進の効果を高める。
構成事務事業名 (評価対象外)	社会福祉協議会活動事業(子育て)、児童手当等支給事業、子ども・子育て支援事業、児童福祉総務費事務経費、児童手当等支給事務事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(4)健康に暮らせるまちづくり

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

①地域医療の充実

取り組み事項	地域医療体制を充実させる		施策の総合評価	B	課題 方向性	一次救急の受け入れ先がなくなれば、二次救急、三次救急への圧迫等影響があるため、このまま体制を維持する。			
			担当部	健康福祉部					
構成事業事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事業事業名 (評価対象外)	保健衛生総務費事務経費								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域医療に貢献できる人を育成する		施策の総合評価	B	課題 方向性	入学試験の応募者数は前年度より42人、28.0%の減となった。 また、卒業生29人のうち28人が看護師国家試験に合格し、うち28人が医療機関に就職、1人が県内専門学校の助産学科に進学した。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
看護専門学校 運営事業	看護専門学校	76,498,770	189,989,679	266,488,449	B	全員合格は達成できなかったが、全国平均(90.8%)以上を維持しており、適正である。 学生確保に向けた取り組みを継続し、地域医療の充実に貢献できる優秀な医療従事者の育成を継続する必要がある。	B	看護師国家試験の合格率は高い水準を維持しているが、出願者は平成25年度をピークに減少傾向にある。 優秀な学生確保の対策として、入試制度の改革やオープンキャンパスの拡充等に引き続き取り組むとともに、新校舎建設事業を円滑に進め、教育環境の向上を図る。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	安定した市民病院運営を行う		施策の総合評価	C	課題 方向性	患者数の減少により、医業収益が減少し、経常収支比率、医業収益比率ともに目標値が達成出来なかった。今後、地域連携室が中心となって、地域の医療機関や介護施設、ケアマネ等の関係機関と信頼関係を築き、地域で医療を必要とする患者の受け皿となり、患者の確保に努めていきたい。			
			担当部	市民病院					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)									

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②健康づくりと予防対策の推進

取り組み事項	健康づくり意識を醸成する		施策の総合評価	B	課題 方向性	市民へ効果的に普及・啓発できるよう、実施方法等の工夫を行い、引き続き健康づくりと予防対策を進める		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
健康づくり推進 事業	子育て元気課	3,512,412	1,928,193	5,440,605	C	健康への意識を高めるためにも、周知方法等の見直しを行い、生活習慣病健康診査をはじめとした各種健康診査等、他事業や他課と協力して受診者の増加を図る。	B	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、受診者数が減少しているが、コロナ禍だからこそ健康への意識を高める必要があるため、周知方法の見直しを行いながら、他事業や他課と協力して受診者の増加につなげていく。
健康ポイント制 度事業	子育て元気課	411,786	335,060	746,846	C	市民へ効果的に普及・啓発できるよう、コンテンツ等の工夫を行い、特に若年、中年層の参加者の増加を図り、引き続き健康づくりと予防対策につながる運動習慣等の定着を図る。	C	アンケート結果から参加者は65歳以上が約9割を占め、中年・若年層の参加が少ないことがわかった。今後も継続して効果的な普及・啓発ができるようアプリの活用も視野に入れ、工夫をしていく。
構成事務事業名 (評価対象外)	若年者の在宅ターミナルケア支援事業、保健対策推進事業、後期高齢者健康増進事業、健康増進事業、食育推進事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	感染症などの予防を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	感染症を予防するには、予防接種により市民全体の免疫水準を維持し一定の接種率を確保することが重要である。そのため、通年による予防接種機会の確保を図り継続して事業を進める。			
			担当部	健康福祉部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	予防接種事業、感染症予防事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(5) 高齢者がいきいきと暮せるまちづくり
 ① 日常生活支援の充実

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	在宅福祉サービスを充実する		施策の総合評価		課題 方向性	高齢者ができる限り住み慣れた地域で安全安心に生活できるよう必要な在宅サービスを常に検討する必要がある。		
			B	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
敬老事業	長寿福祉室	3,059,950	5,702,913	8,762,863	B	高齢者に生きがいを与える事業ではあるが、今後も事業内容については、社会情勢や近隣市町の動向を注視し、検討は欠かさないようにしていく。	B	敬老事業は対象者及びその家族からは大変喜ばれている。市長が訪問し直接祝うなど、敬老の思いを感じてもらい、高齢者の方に生きがいを持っていただくことができている。また、敬老事業の機会に高齢者の在住確認ができるメリットもある。
高年クラブ等社会活動促進事業	長寿福祉室	2,218,464	2,647,669	4,866,133	B	後期高齢者の増加に伴い、会員数は減少傾向にあるが、地域の活動の場やつながりの場としての機能は、活動している地域では有効であるため、引き続き加入促進を図り、活動の支援を図りたい。	B	会員数が減少傾向にあるので、閉じこもりがちな高齢者、団塊世代の比較的若い層の方々に高年クラブの活動に参加、体験したいと思うような活動内容、広報手段を新たに考え、加入促進を図りたい。
しあわせ基金事業	長寿福祉室	1,682,972	1,206,000	2,888,972	B	高齢者の在宅福祉の向上及び健康づくりの推進に寄与するための事業に適切に支出できるよう、適宜事業を見直しながら基金事業を組み立てていく。	B	基金事業を見直す会議等において、事業内容などを精査して、よりよい事業内容に基金を支出できるよう改善を図る。移送サービスについては、今後また周知方法などについて社協と連携を図りながら事業を進めていく必要がある。
老人短期入所運営事業	長寿福祉室	535,491	41,470	576,961	B	虐待による緊急的な措置としても必要不可欠な事業である。介護報酬の見直しと同時に委託料の見直しが必要である。	B	養護老人ホームが満床である場合には事業実施は難しいが、虐待案件などの緊急性がある場合に必要な事業である。高齢者の安心安全また健康的な生活のためには必要な制度である。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	在宅福祉サービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	高齢者ができる限り住み慣れた地域で安全安心に生活できるよう必要な在宅サービスを常に検討する必要がある。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
高齢者等住宅 改造助成事業	長寿福祉室	1,682,972	4,859,466	6,542,438	B	県事業の随伴補助であり、事業費の1/2の補てんがあり、住み慣れた住宅で安心して自立した生活を継続するために必要な事業である。	B	専門職による事前調査により、申請者にとって不要な工事を発見し、未然に不要な給付を防ぐこともあり、効果的で適正な事業実施ができています。
高齢者在宅生活 支援事業	長寿福祉室	994,484	386,000	1,380,484	B	高齢者の在宅生活を支援していくための施策であるが、今後も社会情勢を鑑みながら事業の見直しを随時していく必要がある。	B	訪問理美容…事業の利用要件に該当する人が少なく、利用者が少ない状況である。 補聴器購入費助成…令和4年度は市民税非課税世帯の方のみ対象であったが、より多くの方が申請できるように令和5年度からは、市民税課税世帯の方に対しても助成を行うこととする。
アイアイコール 事業	長寿福祉室	688,488	2,053,810	2,742,298	B	在宅生活の安心安全のために一定のニーズはある。	B	利用者が緊急ボタンを押し、救急車で搬送される件数が毎年数件あり、相談連絡等も毎月利用されている方がいる状態である。近隣に緊急補助員のなり手がいないため、遠方の家族が登録されている場合があり課題である。
お元気コール 事業	長寿福祉室	764,987	156,255	921,242	C	新規申込者に関しては、高年クラブの会員による「お元気コール」のみとなり、高年クラブの役割としての効果もある。	B	現在の利用者は週一回の連絡を楽しみにされている方が多い。登録者数の増減はほぼない状況である。
構成事務事業名 (評価対象外)	老人保護措置事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②地域包括ケアの推進

取り組み事項	介護予防などを推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	それぞれの状況に応じた事業、サービスを提供することで、住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう努めている。今後はさらなる効果が得られるよう、事業等を見直しながら取り組んでいく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
通いの場運営 支援事業	長寿福祉室	382,493	0	382,493	E	令和3年度から開始した事業であるため、令和5年度までで事業を見極めた結果、KDBによりデータ抽出が可能なため今後それ活用していく予定である。	E	令和6年3月31日までの事業実施期間として一度見直し、事業の整理を行うこととする。この事業で集約されたデータをその後の事業や施策の方針を決める材料とする。
高齢者保健事業・介護予防等 一体的事業	子育て元気課	5,890,405	697,842	6,588,247	B	後期高齢者に対し、健康寿命の延伸に向けた個別または集団への支援は、継続的・定期的実施していく必要がある。	B	高齢者一人一人が自身の健康の保持増進・介護予防へ関心を持ち、取り組みにつながるよう、継続して普及啓発や保健指導を実施していく必要がある。
地域介護予防 活動支援事業	子育て元気課	3,518,943	0	3,518,943	C	いきいき百歳体操の参加者増加のため、積極的な周知が必要である。事業の効果説明を行い、要支援・要介護状態にならないよう保健師や栄養士等の専門職の健康教育の実施等、他の介護予防事業や関係機関と連携を図りながら高齢者がいきいきと暮らせるよう支援策を検討する。	C	関係機関との協同により、計画値を上回ることができた。今後も、既存の活動団体を支援していくとともに、新規団体や参加者の増加に努めることで、高齢者の健康寿命の延伸につながると思う。
構成事務事業名 (評価対象外)	介護予防普及啓発事業、介護予防・生活支援サービス事業、介護予防把握事業、一般介護予防事業評価事業、介護保険事業、介護保険事業、介護保険事業、介護予防・生活支援サービス事業、介護予防・生活支援サービス事業、高額介護予防サービス費相当事業、高額医療合算介護予防サービス費相当事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	生活支援のサービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	生活支援の充実を図るため、効果的な施策である。周知・啓発等に取り組み、さらなる効果を図っていく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
家族介護用品 支給事業	長寿福祉室	535,491	692,160	1,227,651	B	寝たきり高齢者等を在宅で介護している家族の経済的・精神的負担の軽減を図ることができており、継続して実施する。	B	住民税非課税世帯を対象としており、経済的負担の軽減を図ることができている。
家族介護慰労 金支給事業	長寿福祉室	305,995	0	305,995	E	介護保険サービスが充実し、本人の心身の状況に応じたサービスを受けられる環境が整っている中、家族介護者だけで介護を負担するのではなく、適切に介護保険サービスをご利用いただきたい。今後、近隣市町及び社会情勢を鑑み、本事業については随時検討していく。	E	介護サービスの利用につなげることで、家族の精神的負担の軽減を図る。
成年後見制度 利用支援事業	長寿福祉室	688,488	0	688,488	B	経済的な理由などにより制度が利用できていない方の救済を行うために必要であり、継続して実施する必要がある。	B	後見制度利用の必要があっても、申立てができない方や、経済的な理由などで制度利用ができない方を救済するため必要な事業である。
認知症高齢者 サポート事業	長寿福祉室	1,376,977	350,851	1,727,828	B	認知症への正しい理解や対応のためには、認知症サポーター及びキャラバン・メイトの養成は不可欠であることから、継続して実施する。	B	キャラバン・メイト希望者には近隣や県の研修に受講を案内し、メイトの数も増えている。認知症サポーター養成と合わせ、キャラバン・メイトの養成も事業として必要不可欠である。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	生活支援のサービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	生活支援の充実を図るため、効果的な施策である。周知・啓発等に取り組み、さらなる効果を図っていく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
高齢者見守り事業	長寿福祉室	1,529,975	201,442	1,731,417	B	高齢者等の安全安心な在宅生活のために、協力機関、地域及び関係機関と連携した見守りは必要不可欠であるため、継続して実施する。	B	新規の協力機関獲得のため、事業の周知に努める必要がある。今後も地域と連携し、ひとり歩き高齢者に対して安全・安心の確保に努める。
構成事務事業名 (評価対象外)	包括的支援事業、市民後見推進事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	福祉医療の充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	福祉医療制度を充実させることで、助成対象者等にかかる負担の軽減に効果が出ているものと考えている。疾病の早期発見、早期治療等により健康を保持し、市民が安心して医療を受けることができる環境づくりに努めることが必要である。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
乳幼児等医療費助成事業	市民課	1,376,977	51,351,707	52,728,684	B	疾病の早期発見、早期治療により健康を保持できるよう、乳幼児等の保護者等に対し、引き続き、子育てに係る負担の軽減を行い、市民が安心して医療を受けることができる環境づくりに努めることが必要である。	B	今後も県の補助金を受けて事業を実施し、補助金交付対象外の世帯にも市の単独事業により引き続き実施する。また、適正な受診を啓発し、助成金額の節減に努める。
こども医療費助成事業	市民課	1,376,977	38,636,004	40,012,981	B	疾病の早期発見、早期治療により健康を保持できるよう、こどもの保護者等に対し、引き続き、子育てに係る負担の軽減を行い、市民が安心して医療を受けることができる環境づくりに努めることが必要である。	B	今後も県の補助金を受けて事業を実施し、補助金交付対象外の世帯にも市の単独事業により引き続き実施する。また、適正な受診を啓発し、助成金額の節減に努める。
自立支援等医療費助成事業	市民課	535,491	168,940	704,431	B	疾病の早期治療、継続治療により健康を保持できるよう、乳幼児等の保護者等に対し、引き続き、子育てに係る負担の軽減を行い、市民が安心して医療を受けることができる環境づくりに努めることが必要である。	B	他の公費負担医療が優先適用され、福祉医療制度の対象とはならない、乳幼児等及びこどもの医療費の他公費助成後の自己負担額の全部を助成し、乳幼児等医療費助成対象者及びこども医療費助成対象者との公平性を確保する。
鍼灸マッサージ療費助成事業	市民課	522,431	1,479,000	2,001,431	B	疾病の早期治療、継続治療により健康を保持できるよう、対象者に対し、引き続き、負担の軽減を行い、市民が安心して施術を受けることができる環境づくりに努めることが必要である。	B	対象年齢人口に占める申請者数の割合は減少している。社会的公平を図る観点、当該事業の担う役割及び本市の財政事情等を踏まえ、事業の方向性を検討する。
構成事務事業名 (評価対象外)	母子家庭等医療費給付事業、高齢期移行者医療費助成事業、高齢重度障害者医療費助成事業、重度障害者医療費助成事業、福祉医療費一般事務経費、高校生等医療費助成事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(2) 活気のあるまちづくり

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

① 安心して生活できる環境の整備

取り組み事項	空家等対策を推進する		施策の総合評価	A	課題 方向性	空家等対策計画に基づき空家の利活用や適正管理について73件の啓発を行った。空家所有者へ適正な管理を促すため西播磨暮らしサポートセンターや宅建協会と連携し対応を行う。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
空家等対策事業	地域振興課	4,008,535	6,046,978	10,055,513	B	地域の安全・安心を守るため空家等対策を推進することは必要である。	B	市民の安全・安心を守るため老朽危険空家の除却、管理不全空家の解消、優良空家の利活用の推進を行うことは必要である。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	公共交通の利便性向上を図る		施策の総合評価	D	課題 方向性	各種団体へ乗り方教室を実施するなど利用促進を図っていく。			
			担当部	市民生活部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
地方バス路線 維持補助事業	地域振興課	1,988,968	11,707,000	13,695,968	B	赤字路線の経費は増加しているが、バス事業者の努力により運行を続けている。減便とならないよう利用促進を図る必要がある。	B	移動困難者の支援のためデマンドタクシーの利用について啓発を行う。	
生活交通シス テム事業	地域振興課	3,442,444	6,495,974	9,938,418	C	デマンドタクシー未実施地区においても、生活交通の支援を必要とする声もあるため、制度の見直しを行うとともに対象区域拡大による費用問題について検討する必要がある。	C	利用者においては、必要な生活交通となっており、今後免許返納の増加も予想されるため利用しやすい制度に見直しの上実施する必要がある。	
構成事務事業名 (評価対象外)	公共交通等事業者燃料高騰対策事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②市民の協働によるまちづくりの推進

取り組み事項	地域コミュニティ活動を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	各団体においてリーダーの担い手が不足しており、担い手育成を支援する必要がある。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
消費者行政推進事業	地域振興課	4,528,136	777,014	5,305,150	B	消費生活相談は毎年多くの相談を受けており事業継続は必要である。	B	スマートフォンの普及、外出自粛によりネットトラブルは増加傾向であり他市町における被害状況を把握するとともに相談を行っていく必要がある。
緑化推進事業	地域振興課	1,726,911	916,139	2,643,050	B	緑化推進には地域団体の活動が活発になる必要があるため事業継続は必要である。	B	各団体において花壇等の管理をいただき、緑化意識の啓発をすることができた。
コミュニティ推進事業	地域振興課	1,078,392	155,585	1,233,977	B	地域団体の活動において夏祭りなどのイベントをすることはコミュニティの活性化には必要であり事業継続は必要である。	B	新型コロナウイルス感染症によりイベントがなくなっている。今後は、コロナ禍を見据え地域が活性化できるよう各団体の意見を踏まえた備品整備を行う。
地域自治支援事業	地域振興課	2,469,521	10,754,145	13,223,666	B	地域問題の解決をする主な団体として自治会は不可欠であり、事業継続は必要である。	B	自治会の組織の弱体化が進む地域もあり、地域課題の解決に取り組めるよう支援するとともに地域コミュニティの活性化を促進する必要がある。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域コミュニティ活動を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	各団体においてリーダーの担い手が不足しており、担い手育成を支援する必要がある。			
			担当部	市民生活部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
集会所等設置 費助成事業	地域振興課	671,882	4,160,000	4,831,882	B	自治会を維持するために、地域コミュニティの拠点である集会所の整備や改修等の支援をすることは必要である。	B	適時、集会所の改修等を行うことで施設の延命化が図られている。	
佐方福祉セン ター管理事業	環境課	535,491	967,880	1,503,371	B	多様なコミュニティ活動の場として住民の福祉に寄与しており、事業継続は必要である。	B	現美化センター建設時に地元への貢献施設として建設された当該施設であるが、新たに美化センターを建て替える際の将来的な位置づけについて検討する必要がある。	
構成事務事業名 (評価対象外)	相生市総合補償保険事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	男女共同参画社会の実現に努める		施策の総合評価	B	課題 方向性	市民啓発グループのリーダーの担い手不足となっているため事業が縮小傾向にあるため新規会員の募集を行う必要がある。			
			担当部	市民生活部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
いきいき男女共生事業	地域振興課	4,641,189	842,780	5,483,969	B	男女共同参画の意識啓発のためにもセミナー等の開催は事業継続する必要がある。	B	市民活動グループとの協働によりセミナー等の円滑な実施ができている 相生市男女共同参画センターについては、有効活用を図る必要がある。	
構成事務事業名 (評価対象外)									

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

③まちのにぎわいの創出

取り組み事項	就労環境の充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	就労支援については継続した取り組みを行うことで地元就職者の増加を目指す。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
就労促進事業	地域振興課	929,702	764,690	1,694,392	A	地域活性化を図る上では若年者の地元就職支援への取り組みは必要であり、新規施策を展開しながら実施する。	C	就労機会の確保や雇用の安定を図るためには必要な施策である。奨学金返還制度を設ける事業所を増やすため積極的に企業に働きを行いながら、有効性を高める必要がある。また、インターンシップについて市内の受入れ先を増やし引き続き市内企業への就労に結びつくように改善を行いながら、より充実した就労促進事業を継続し就労環境の構築を図る。
労働者福祉事業	地域振興課	464,850	384,000	848,850	B	労働者の福祉活動向上のため、継続して実施する。	B	労働者の福祉活動の向上のため、本協議会の活動への助成を維持していく。
勤労者住宅資金融資事業	地域振興課	304,688	6,000,000	6,304,688	C	金融機関独自の住宅融資が低金利なため、本制度の有利な点がない。金融市場の動向をみながら制度の見直しを検討する。	C	既存利用者への対応をとりながら、制度の見直しを検討していく。
構成事務事業名 (評価対象外)	シルバー人材センター育成事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	商工業の活性化を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者や市民については、今後も継続的な支援を講じる必要があり、また、地域の活性化のためにも継続して創業支援や商店街活性化への取り組みを行っていく。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
商工業対策事業	地域振興課	622,400	26,000	648,400	B	市内特産品等を効率的にPRしていくため、継続して実施する。	B	市が単独で実施するよりも効率的・効果的に特産品等のPRが出来ている。しかし、市内特産品の取扱件数が少ないため、製造・販売者へより周知していく必要がある。
地場産業振興センター事業	地域振興課	189,455	283,000	472,455	B	市内特産品等を効率的にPRしていくために、継続して実施する。	B	市が単独で実施するよりも効率的・効果的に特産品や地場産品のPRが出来ているため、継続とする。
地域振興事業	地域振興課	6,800,563	172,404,207	179,204,770	B	新型コロナウイルス感染症が収束しつつあるが、引き続き市内商工業者の状況を注視し、必要な支援を行っていく必要がある。	B	新型コロナウイルス感染症が第5類に移行する状況においても、引き続き事業者等の状況把握に努め、国・県の動向にも注視し、様々な観点から必要とされる支援策を実施していく必要がある。
商店街空店舗等活用事業	地域振興課	770,845	2,295,000	3,065,845	B	創業支援事業と連携し、新規創業希望者の創業意欲を高めるためにも継続して実施する。	B	例年一定数の利用がある中で、より一層の利用を促進していくため、今後も創業支援と連携して継続していく必要がある。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	商工業の活性化を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者や市民については、今後も継続的な支援を講じる必要があり、また、地域の活性化のためにも継続して創業支援や商店街活性化への取り組みを行っていく。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
商店街活性化事業	地域振興課	935,561	150,000	1,085,561	B	商店街空き店舗の情報を更新・活用することで、商店街の活性化を図るためにも継続して実施する。	B	新規創業希望者への創業支援や商店街の活性化のため、空き店舗バンクの更新については継続して実施していく。
商工会議所振興事業	地域振興課	397,793	6,071,000	6,468,793	B	市の商工業の活性化を図る上では、相生商工会議所との連携が必要であり、継続して実施する。	B	相生商工会議所と連携して商工業の振興を図るため、今後も継続して助成していく。
創業支援事業	地域振興課	764,987	502,680	1,267,667	B	商店街空き店舗助成との連携により、効果的な取り組みが行えており、継続して実施する。	B	創業相談の実施や空き店舗助成の活用により新規創業につなげることができている。また、創業相談者が創業塾を受講することでより安心して確実な創業への取り組みを行うことが実現できている。
匠の技(造船技術)継承事業	地域振興課	128,256	200,000	328,256	C	伝統技能継承に係る本事業のPRをさらに行った上で、継続して実施する。	C	研修の内容や活動実績について、企業以外にも広報紙等で市民に広くPRを行い、伝統技能継承に携わる本協議会の活動内容の充実化を図る必要がある。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	商工業の活性化を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者や市民については、今後も継続的な支援を講じる必要があり、また、地域の活性化のためにも継続して創業支援や商店街活性化への取り組みを行っていく。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
中小企業小額 資金融資事業	地域振興課	201,173	150,000	351,173	B	コロナ禍においては利用ニーズは低い状況であるが、今後の状況を注視しながら継続して実施する。	B	コロナ禍においては国や県の有利な融資制度があることから本制度のニーズは低いが、長引く景気の低迷により苦しい立場にある市内中小企業者への支援制度として継続して実施する必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	計量推進事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

④地域資源を活かした観光の振興

取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する		施策の総合評価		課題 方向性	新型コロナウイルス感染防止策を行いながら、前夜祭花火大会は中止としたがペーロン祭を100周年として実施した。また、羅漢の里もみじまつり、相生かきフードフェスを開催することができた。今後についても、市の魅力発信のため、相生市の三大祭として開催する。		
			B	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
中学生ペーロン 推進事業	地域振興課	158,855	122,693	281,548	B	相生ペーロンの伝統文化継承のためにも将来の担い手を育成する事業として継続して実施する。	B	これまでの長い歴史の中で継承されてきたノウハウをベースに、より安全かつ円滑に進めていくことが求められる。
海洋訓練教室 推進事業	地域振興課	214,196	313,949	528,145	C	B&G海洋クラブの活動とペーロンを融合する取組みを検討し、実施する。	C	相生ペーロン海館を活用してペーロンと連携した活動を行うなど、海洋スポーツの普及のみならず、文化伝統の継承を視野に入れ、相生湾臨海部の活性化を図っていく。
観光協会推進 事業	地域振興課	2,399,113	2,950,000	5,349,113	B	相生市の観光振興を推進するため、継続して相生市観光協会と連携して実施していく。	B	コロナ禍の影響により観光PRに制限に係る状況であったが、相生市の観光振興を推進する上では継続して観光協会の活動を支援していく必要がある。
相生ペーロン祭 事業	地域振興課	8,970,498	24,550,000	33,520,498	B	相生市の伝統文化である相生ペーロンを普及・推進していくためにも継続して実施する。	B	相生ペーロン祭100周年として、前夜祭は出来なかったが、適切に事業が完了した。コロナ禍による祭の中止は事務局・協会ともに運営ノウハウの継承が心配される。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する		施策の総合評価		課題 方向性	新型コロナウイルス感染防止策を行いながら、前夜祭花火大会は中止としたがペーロン祭を100周年として実施した。また、羅漢の里もみじまつり、相生かきフードフェスを開催することができた。今後についても、市の魅力発信のため、相生市の三大祭として開催する。		
			B	担当部				市民生活部
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
羅漢の里もみじまつり事業	地域振興課	4,853,567	1,900,000	6,753,567	B	相生市の山側の観光資源をPRする場として、地元と協力しながら継続して実施する。	B	コロナ禍における行事の開催は瓜生をはじめとした地元の理解協力が不可欠であり、感染対策との両立を行い今後も実施する。
相生かきまつり事業	地域振興課	2,992,221	666,000	3,658,221	B	相生市の最大の特産品である「相生かき」を広く全国的にPRするイベントとして継続して実施する。	B	通常のかきまつりとしてではなく、相生かきフードフェスとしてコロナ禍の中感染対策を行い実施をできたことは、かきのPRイベントとして成功であった。今後も感染状況等を見ながら適切な形で実施していく。
相生ペーロン振興事業	地域振興課	1,079,099	292,600	1,371,699	B	相生ペーロンの将来の担い手育成の場として、また、体験型観光プログラムとして重要な観光資源であることから、継続して実施する。	B	コロナ禍のなか感染対策等を行い、学校関係を中心に少しずつ体験乗船実施ができています。
ペーロン海館管理事業	地域振興課	335,288	3,213,748	3,549,036	B	相生ペーロンの普及、伝統文化継承の拠点施設として適切に運営していく必要がある。	B	相生ペーロンの更なる振興のため、体験乗船を核とした多様な活用方法を検討しながら継続していく。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する		施策の総合評価	B	課題 方向性	新型コロナウイルス感染防止策を行いながら、前夜祭花火大会は中止としたがペーロン祭を100周年として実施した。また、羅漢の里もみじまつり、相生かきフードフェスを開催することができた。今後についても、市の魅力発信のため、相生市の三大祭として開催する。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
道の駅管理運営事業	地域振興課	274,089	5,503,606	5,777,695	B	相生市の観光情報の発信拠点であり、一番の観光スポットでもあることから、適切に運営していく必要がある。	B	道の駅は相生市の観光情報の発信拠点だけでなく、それ自体が観光スポットとして市の賑わいづくりに寄与していることから、適正に維持管理をしていき、魅力のある施設として維持していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	観光費事務経費							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	広域観光を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	コロナが第5類へ移行後、インバウンドへの対応を含めた受け入れ体制づくりを検討していく。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
相生市親・交・ 商連携型地域 活性化事業	地域振興課	2,899,080	3,869,564	6,768,644	B	広域観光の推進においては、あいおい情報ラウンジを拠点施設として継続的に取り組んでいく必要がある。	B	駅前を拠点として市内全域の活性化を目指す上でも、観光・交通・商業の各関係機関と連携し継続していく必要がある。
ふるさと応援大使活用事業	地域振興課	1,014,336	162,036	1,176,372	C	広域的に情報を発信する有効な手段として、活用方法を検討した上で継続して実施する。	C	ふるさと応援大使の任命者の位置づけ、役割を整理した上で、より広く市内外に相生市をPR出来るような活用の方法を検討していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(3)環境にやさしいまちづくり
 ①豊かな自然環境の保全

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	環境汚染防止対策を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	職員の少ない中、苦情に係る対応について迅速に処理が出来た。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
構成事務事業名 (評価対象外)	大気汚染常時監視網管理運営事業、公害行政推進事業、水質汚濁調査運営事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	環境保全活動を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	相生湾を中心としたあいおい播磨灘の里海づくりにおいて、子ども達の体験型の自然学習活動等を展開しており、その活動に関わる団体や協力機関が増え、徐々に里海づくり活動の広がりが出てきている。今後はその広がりを継続しながらより多くの市民参加が出来るような活動内容を検討していく。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
環境施策関連 事業	環境課	3,715,880	958,408	4,674,288	B	概ね計画通り進捗している。	B	活動の幅を広げるためには参加者枠を広げる必要もあると思われるが、海での体験活動がメインのため、安全管理面から「里海クラブ」員を20名限定としている。安全に活動を行っていただける方策を研究する必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	自然公園管理事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②環境衛生の保持

取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する		施策の総合評価		課題 方向性	分別の徹底により、ごみの減量、リサイクル化が図れ、施設の延命化に努めるとともに効率的な運転、維持管理を行うことができた。		
			A	担当部			市民生活部	
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
リサイクル推進事業	環境課	2,153,346	17,279,594	19,432,940	B	市民のリサイクル推進の場として十分な役割を果たしており、引き続きニーズなどを見ながら継続して事業を行う。	B	資源ごみの売却単価は見積合わせで決定しており、市場価格によるので安定価格ではないが、資源を有効活用するために、継続して事業を行う必要がある。
ごみ箱等設置補助事業	環境課	382,493	280,000	662,493	B	概ね計画通り進捗している。	B	地区のごみステーション管理や環境美化、収集の利便性などからも、設置について地元と調整を図りながら補助を行っており、地域の美観確保につながっている。
塵芥収集事業	環境課	137,209,136	43,307,575	180,516,711	B	職員定数減により収集業務の一部民間委託を実施し、収集業務の効率化及びコスト削減に努めている。	B	一部、未だ分別されずごみ出しが行われているので、普及啓発を行う必要がある。
美化センター管理運営事業	環境課	11,326,669	208,301,821	219,628,490	B	分別の徹底により、ごみの減量、リサイクル化が図れ、施設の延命化に努めるとともに効率的な運転、維持管理に努めている。	B	新施設の建設が必要となっており、現在計画中である。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する		施策の総合評価	A	課題 方向性	分別の徹底により、ごみの減量、リサイクル化が図れ、施設の延命化に努めるとともに効率的な運転、維持管理を行うことができた。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
最終処分場管理運営事業	環境課	2,921,599	3,568,616	6,490,215	B	埋立についてさらに減量を図りながら延命化に努める必要がある。	B	最終処分場の延命化を図るため、分別を徹底し埋め立てごみの削減を図る必要がある。
粗大ごみ処理事業	環境課	5,369,559	3,722,698	9,092,257	B	粗大ごみについては、可燃と不燃に分別し、処理委託料の経費削減に努めるとともに、中間処理により一部再資源化を図った。今後も継続して引き続きコスト削減について検討する。	B	収集した粗大ごみについて、焼却する物、埋め立てする物、委託処理する物に職員が再分別している。引き続きコスト削減について検討する。
ごみ有料化事業	環境課	1,355,800	27,016,110	28,371,910	B	概ね計画通り進捗している。	B	コスト削減や在庫管理の徹底を行う。
リサイクルセンター管理運営事業	環境課	11,333,199	14,658,296	25,991,495	B	使い捨てからリサイクルへとライフスタイルの変化に対応すべく、分別の徹底によりごみの適正処理ができている。	B	社会情勢によって、有価物から逆有償となりえる状況である。引き続き状況を注視する必要があり、逆有償になった場合の処理方法なども検討しておく必要がある。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する		施策の総合評価	A	課題 方向性	分別の徹底により、ごみの減量、リサイクル化が図れ、施設の延命化に努めるとともに効率的な運転、維持管理を行うことができた。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
環境クリーン事業	環境課	917,985	3,105,960	4,023,945	B	概ね計画通り進捗し、市内の環境美化が図られた。今後も周回ルートや業務内容の見直しを行いながら最適な手法を研究し、ゴミの適正処理を推進していく。	B	周回ルートや業務内容の見直しを行いながら最適な手法を研究する。
構成事務事業名 (評価対象外)	近畿自然歩道事業、清掃総務費事務経費、塵芥処理費事務経費、(仮称)地域エネルギーセンター推進事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	し尿の適正な処理をする		施策の総合評価	A	課題 方向性	効率的な収集計画に基づきコスト削減に努め、有効に対応できた。 今後も、効率的な収集計画に基づき適正処理を行う。				
			担当部	市民生活部						
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価				事業単独でみた評価	
					方向性	所見		方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	し尿収集事業									

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	感染症の蔓延を予防する		施策の総合評価	B	課題 方向性	市内に公衆浴場が1軒となっているが、衛生面からも存続が必要であり、事業者育成のためには、支援する必要がある。市内の側溝からの感染症を予防するためにも、害虫駆除事業は継続する必要がある。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
公衆浴場設備 改善資金利子 補給補助事業	環境課	76,498	0	76,498	B	公衆浴場が存続している限り継続する必要がある。	B	公衆浴場の存続のため、事業方法について引き続き検討を行う。 浴室が設置されていない老朽家屋に住む世帯の衛生管理面からも、公衆浴場が存続している限り継続する必要がある。
衛生害虫駆除 事業	環境課	152,997	0	152,997	B	概ね計画通りに進捗している。	B	環境衛生の保持のために、自治会等の協力を得ながら継続する必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	畜犬登録事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	基地などの適正管理に努める		施策の総合評価	B	課題 方向性	事務事業全体としては、予定どおり進捗しているが、葬儀事業等、見直しができるところは今後の課題として取り組んでいく。			
			担当部	市民生活部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
葬儀事業	環境課	1,759,471	3,610,231	5,369,702	B	今後も適正かつ効率的な運営に努める。	B	経年劣化により老朽化が進んでいる葬儀祭壇や備品の更新を行いながら運営を行っており、経費削減に努めつつ、安全に運営を行えるように努める。	
ささゆり苑管理 運営事業	環境課	2,294,963	47,051,851	49,346,814	B	民間での葬儀が増えている中で、ささゆり苑を利用する人が不便なく利用できるように施設の管理に努め、効率的な運営を図ることができた。今後も適正かつ効率的な運営に努める。	B	市民に欠かせない施設として、火葬炉の全面積替修繕を行いながら延命化に努め、多様化する市民ニーズに対応できるように効率的な運営を図ることができた。今後も適正かつ効率的な運営に努める。	
市営墓地管理 事業	環境課	2,965,540	26,848,771	29,814,311	B	一般墓地貸付率が96%程で推移しており、市民サービス面でも適正に運営できている。現状のまま事業を継続していく。	B	近年の社会情勢等から墓地の需要に変化が見られる中で、墓地の貸付数についてはここ数年5件程で推移しており、需用費等のコストを抑えることで、1基当たりの維持管理経費を減少させることにつながっている。	
構成事務事業名 (評価対象外)	市営墓地使用料還付事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

5 暮らしを支える都市機能の整ったまち

(1) 快適に暮らせるまちづくり

① 快適な都市機能の維持

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	下水道事業の健全経営と維持管理を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	使用料改定に伴う経費回収率の上昇				
			担当部	建設農林部						
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価				事業単独でみた評価	
					方向性	所見		方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	下水道事業									

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	道路などの整備と適切な維持管理に努める		施策の総合評価	B	課題方向性	地域の美化意識の向上及び組織の強化などに有効である。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
道路愛護事業	都市整備課	1,253,273	454,960	1,708,233	B	地域の道路美化活動を推進し、快適に暮らせるまちづくりを実現するためにも継続して実施する。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により清掃活動自体の実施が少なくなっていたが、今後は活動の再開が見込まれるため、継続して実施していく。
構成事務事業名 (評価対象外)	交通安全施設整備事業、街灯維持管理事業、道路橋梁維持管理事業、道路台帳整備事業、道路橋梁整備事業(都市整備)、道路橋梁整備事業(建設管理)							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	秩序ある都市空間を形成する		施策の総合評価	B	課題 方向性	国・県からの受託事務であるため、継続実施する。			
			担当部	建設農林部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	土地利用規制等対策事業、都市計画基礎調査事業、屋外広告物取扱事業、地籍調査事業、都市計画総務費事務経費、土地区画整理事務経費、建設管理課事務経費、都市整備課事務経費、狭あい道路整備事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②安心な住環境の保全

取り組み事項	住環境の整備に努める		施策の総合評価	B	課題 方向性	住宅に対して地震や土砂災害から被害を軽減するための支援事業であり、安全面からの必要性などを引き続き周知していき、継続して実施していく。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
簡易耐震診断 推進事業	都市整備課	3,365,945	504,000	3,869,945	B	引き続き事業の周知を行いながら、市民の安全性を確保するため継続して実施する。	B	引き続き広報紙やホームページで事業の普及啓発を行うことで、市民の安全に関する意識の向上を図っていく。
住宅耐震改修 促進事業	都市整備課	2,447,960	1,400,000	3,847,960	B	耐震診断実施者へのフォローアップを行いながら、市民の安全性を確保するため継続して実施する。	B	広報紙やホームページによる普及啓発以外に、相談会の開催や耐震診断実施者へのフォローアップなどさらなる啓発に努め、市民の住宅への地震に対する安全性確保への認識を促す。
住宅・建築物土 砂災害対策支 援事業	都市整備課	458,992	0	458,992	B	事業のさらなる周知方法を検討した上で、市民の安全性を確保するため継続して実施する。	B	対象となる住宅・建築物を所有する住民への制度周知の方法を検討し、事業を推進していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	公園、緑地の保全を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	引き続き、適正な維持管理のもと安全安心な公園の環境整備に努める。			
			担当部	建設農林部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	公園施設維持管理事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	公営住宅などの適切な管理に努める		施策の総合評価	B	課題 方向性	入居率は減少傾向にあるものの、7割以上を確保している住宅もあり、概ね有効に市民サービスに供されている。今後は、今年度策定した長寿命化計画に伴い市営住宅の統合建て替えやその他の住宅の効果的な修繕を進めていく。			
			担当部	建設農林部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	住環境整備費事務経費、再開発住宅管理事業、公営住宅維持管理事業、コミュニティ住宅管理事業、定住促進住宅管理事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

③港湾と河川の保全

取り組み事項	港湾の維持管理及び活用を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	市、市民、民間企業が一体となって海岸の環境美化に取り組めており、快適な住環境を確保できている。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
海岸美化対策 事業(建設管 理)	都市整備課	1,529,975	137,210	1,667,185	B	官民が一体となって海岸環境を保全する効果的な事業であるので、引き続き連携を密にしながら実施する。	B	市、市民、関連団体や企業が一体となって取り組むことで、物理的な環境保全だけでなく、ふるさと相生の海への愛着にもつながると考えるため、継続して実施する。
構成事務事業名 (評価対象外)	港湾管理事業、ポンプ場管理事業、海岸美化対策事業(都市整備)、港湾整備事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	河川の保全を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	地域の美化意識の向上及び組織の強化などに有効である。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
河川愛護事業	都市整備課	1,559,268	298,450	1,857,718	B	地域の河川美化活動を推進し、快適に暮らせるまちづくりを実現するためにも継続して実施する。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により清掃活動自体の実施が少なくなっていたが、今後は活動の再開が見込まれるため、継続して実施していく。
構成事務事業名 (評価対象外)	河川等改修事業、河川管理事業、ポンプ場管理事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(2) 地域生産力の向上を目指すまちづくり
 ① 農林水産業の持続的発展

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	農業の振興を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	国の補助金・交付金事業に関連した事業が多いため、国及び県の動向を注視していく。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
数量調整円滑化推進事業	農林水産課	3,671,940	28,000	3,699,940	E	県事業の終了に伴い終了とする。	E	県事業の終了に伴い終了とする。
夢ある農村づくり推進事業	農林水産課	4,283,931	2,821,560	7,105,491	B	特産品の安定生産のため、引き続き支援を行う	B	農業振興のため、細やかな支援ができるよう、ニーズに沿った補助メニューを設置しているが、実績を踏まえ重点的に取り組む施策へ補助メニューの見直しを引き続き検討していく。
上松農業共同作業所管理事業	農林水産課	229,496	0	229,496	B	指定管理者と連携し施設を維持する	B	指定管理者と連携し、有効利用を促進する。
中山間地域等直接支払事業	農林水産課	1,529,975	2,778,658	4,308,633	B	中山間地域の農業を引き続き支援する	B	農地管理者の高齢化や担い手不足により集落の負担が大きくなっているのが現状である。引き続き市が適正に制度周知や利活用を促すことで、集落内での負担軽減を図る必要がある。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	農業の振興を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	国の補助金・交付金事業に関連した事業が多いため、国及び県の動向を注視していく。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
ふるさと交流館 管理事業	農林水産課	611,990	9,372,332	9,984,322	B	指定管理者と連携し、利用者増を図る。	B	現在の指定管理者が効率的かつ有効的に施設運営を行い、利用率の向上を図ることができるよう、引き続き市との協力体制を強固なものにしていく。
有害鳥獣対策 事業	農林水産課	3,059,950	8,680,830	11,740,780	B	継続して有害鳥獣の駆除を推進する。	B	農作物被害の更なる減少を図るため、継続して有害鳥獣の駆除を推進していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	農業金融制度利子補給事業、土地改良事業、農業委員会費事務経費、農業総務費事務経費、農業振興等奨励事業、ふれあい公園管理事業、環境保全型農業直接支払事業、燃油価格高騰対策等補助金交付事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	森林整備及び保全を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	施設が老朽化しているため、指定管理者と連携し、更新を行って行く必要がある。 森林資源の調査を実施し、利活用方法について検討が必要。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
林業振興事業	農林水産課	6,517,041	2,952,640	9,469,681	B	林業発展のため、林業に携われる場を提供し、技術を継承する必要がある。	B	林業教室を開催することにより、林業技術の伝承や後継者育成につながっている。
羅漢の里管理事業	農林水産課	1,573,915	81,871,836	83,445,751	B	指定管理者と連携し、健全な運営を図る。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、大人数でのコテージの利用者が減少している。そのため、感染症対策を行いながら、PR等普及啓発を行い、利用者の増加につなげていきたい。
森林環境基金事業	農林水産課	458,992	2,084,740	2,543,732	C	森林環境譲与税を有効活用し、継続的な森林整備や維持管理に取り組む必要がある。	C	林地台帳データ整備や支障木伐採のほか、森林環境譲与税の目的に沿った活用を積極的に行っていく。
構成事務事業名 (評価対象外)	遊歩道整備事業、林道維持修繕事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	水産業の振興を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	相生牡蠣の生産振興を中心とした事業構成であるが、6次産業化の推進など、他の施策と合わせ複合的に推進していく必要がある。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
水産業振興事業	農林水産課	382,493	3,000,000	3,382,493	B	県や周辺自治体及び漁業等関係団体と連携しながら安定的な種カキの確保手段を検討していく。	B	県や周辺自治体及び漁業等関係団体と連携しながら安定的な種カキの確保手段を検討していく。
水産物市場管理事業	農林水産課	458,992	34,033,210	34,492,202	C	施設の必要性も含め、市全体で施設の在り方を検討していく必要がある。	C	施設の必要性も含め、市全体で施設の在り方を検討していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	水産業振興費事務経費、漁船保険補助事業、漁業近代化資金利子補給事業、漁業金融制度利子補給事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

6 まちづくりを進める土台を強化する
 (1) 安定した持続可能な行政経営
 ① 定住の促進と関係人口の拡大

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	まちの認知度の向上を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	新たに不動産情報サイトや見逃し配信サービスへの広告掲載により、ターゲットを絞った戦略的な相生市のPRを行うことができた。今後も、相生市の認知度向上のために、様々な手法の中から効果的な手法を研究・選択し、市内外へ効果的にPRを行っていく。			
			担当部	企画総務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
市制80周年記念式典事業	企画広報課	1,912,469	3,640,245	5,552,714	F	80周年記念事業であるため、令和4年度をもって終了となる。	F	80周年記念事業であるため、令和4年度をもって終了となる。	
相生市定住促進PR事業	定住促進室	2,281,903	3,617,008	5,898,911	C	定住促進PRを行うことは、まちの知名度向上に寄与するものであり、社会情勢に合わせたPRを今後も行っていく必要がある。	C	定住促進PRを行うことは、本市の取組みを周知することにより定住促進につながるものであるため、社会情勢に合わせたPRを今後も行っていく必要がある。	
相生市定住・移住相談事業	定住促進室	1,603,208	41,260	1,644,468	C	定住・移住相談事業を行うことは、相生市の人口増減だけでなく、定住・移住希望者を含めたまちの知名度向上に寄与するものであり、今後も行っていく必要がある。	C	オンライン相談を取り入れるなど、相談メニューを豊富にすることで、移住希望者が相談しやすい体制が整い始めた。今後は閉庁時でも相談・質問に回答できる仕組みづくりが必要と考える。	
シティプロモーション事業	企画広報課	2,294,963	3,954,084	6,249,047	C	認知度の向上は必須であり、ターゲットを明確に実施するとともに、手法についても費用対効果を検証しながら行う必要がある。	C	時代に即したPR手法や、効果検証方法について研究しながら事業を継続していく。	

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	まちの認知度の向上を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	新たに不動産情報サイトや見逃し配信サービスへの広告掲載により、ターゲットを絞った戦略的な相生市のPRを行うことができた。今後も、相生市の認知度向上のために、様々な手法の中から効果的な手法を研究・選択し、市内外へ効果的にPRを行っていく。			
			担当部	企画総務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
広報事業	企画広報課	5,968,400	7,159,521	13,127,921	C	広報紙は全市民に市政情報を提供できる手段として非常に重要である。今後は、発信した情報が確実に読んでもらえるよう他の手法も検討しながら取り組む必要がある。	C	広報紙は全市民に情報を提供できる重要な手段であり、市政情報のみならず、市の魅力についても発信することができ、市政への関心を高めるとともに、本市への愛着と誇りの醸成につながる。今後は、市民アンケート等により満足度を調査し、より市民のニーズに沿った広報紙を作成していく必要がある。	
ホームページ 整備事業	企画広報課	3,442,444	7,843,110	11,285,554	B	情報提供や情報公開のツールとして非常に重要な事業であることから、引き続き、市民のニーズに対応した情報提供を行っていく。	B	インターネットの普及等により、アクセス数も増加しており、情報提供や情報公開のツールとして非常に重要な事業であることから、引き続き、市民のニーズに対応した情報提供を行っていく。	
構成事務事業名 (評価対象外)									

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	ふれあいのあるまちづくりを推進する		施策の総合評価	C	課題 方向性	ポストコロナに向けて、知恵と工夫により、本市に対する愛着と絆を強める事業を展開し、本市に住み続けたいと思う人を増やすことで、転出者を抑制する。		
			担当部	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
相生市民さわやかあいさつ運動事業	企画広報課	152,997	0	152,997	B	ウィズコロナ・ポストコロナにおいても、本市への愛着と絆を強めるため、引き続き実施する。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、あいさつ運動キャンペーンが中止となり事業が縮小してしまった。そのため、広く啓発できる効率的効果的な手法の検討する必要があるものの、あいさつ運動を継続していき、市民の住みよさの実感を高め、本市への愛着と絆を醸成していく。
国際交流事業	企画広報課	3,518,943	250,000	3,768,943	B	引き続き、市民の国際理解の促進、外国人の生活環境の向上を図り、住みやすいまちづくりにつなげる。	B	社会のグローバル化が進む中、国際交流に取り組む意義は大きいと考える。引き続き、国際交流事業を行うことで、市民の国際理解の促進、外国人の生活環境の向上を図り、住みやすいまちづくりにつなげる。
隣保館活動事業	総務課	4,662,705	1,110,819	5,773,524	B	周辺地域住民との人権交流の場の提供や相談の実施を継続していくことにより、ふれあいのあるまちづくりにつなげる。	B	利用者の高齢化、固定化といった課題はあるものの、住民の生活相談や人権交流の場として、周辺地域住民等との交流の場として必要な活動である。また、インターネット上への書き込み等新たな課題もあり、モニタリングの実施等により同和問題の解決に向け取り組んでいく必要がある。
非核平和展事業	総務課	1,529,975	22,406	1,552,381	B	原爆による被害の様子を正しく伝え、市民一人ひとりが「平和の尊さ」について考える機会を提供することにより、ふれあいのあるまちづくりにつなげる。	B	社会情勢に応じて事業内容は年度によって異なるが、毎年開催することで、原爆による被害の様子を正しく伝え、市民一人ひとりが「平和の尊さ」について考える機会を作る。
構成事務事業名 (評価対象外)	地域改善対策事業、隣保館管理運営事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	住みやすいまちづくりを推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	新たに「あつまれ新婚さん新生活応援金交付事業」を開始し、子育て世代の定住促進に努めており、今後、その効果を検証していくことで、社会増減の改善を図っていく。 また、お試し移住事業を拡大することで更なる転入者の拡大を図る。		
			担当部	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
企業立地促進事業	企画広報課	1,376,977	20,961,000	22,337,977	B	引き続き、新規産業の導入及び住宅地内に点在する既存企業の移転の促進を行い、雇用の拡大、市民所得の向上、固定資産税等の安定自己財源の確保を行う。	B	企業のニーズに合った用地が少なく、新たな進出には結びついていないが、引き続き、助成制度等を整備しておくことにより、新規産業の導入及び住宅地内に点在する既存企業の移転の促進を行い、雇用の拡大、市民所得の向上、固定資産税等の安定自己財源の確保を行う。
ふるさと応援事業	企画広報課	7,420,380	150,162,779	157,583,159	A	寄附の拡大は、本市に関心を持つ者の増加につながり、ひいては、関係人口・定住人口の増加につながるきっかけとなるものとする。引き続き、寄附の更なる増加を目指し、引き続き返礼品の開発や事業者の新規開拓に努めるとともに、新たな取り組みを企画・検討していく。	A	寄附件数の増加は関係人口の増加につながるものである。引き続き多くの人に相生市に関心を持ってもらうため、さらなる返礼品の開発や事業者の新規開拓を行う。また、ふるさと応援寄附により地元特産品の知名度を向上させることは、関係人口の創出のきっかけになるため、新たな取組みを企画・検討していく。
新婚世帯家賃等補助金交付事業	定住促進室	1,516,915	18,552,000	20,068,915	B	子育て世代が相生市に住むきっかけのひとつになっているおり、引き続き、事業を実施していく。	B	子育て世代への切れ目ない支援を行うための11の鍵事業のひとつであり、経済的な理由により結婚できない若年層への結婚支援策として有効に機能している。引き続き事業を実施することで婚姻数を維持しながら、定住人口の拡大へとつなげていく。
住宅取得奨励金交付事業	定住促進室	1,363,917	10,000,000	11,363,917	B	新婚世帯等家賃補助金事業等を活用し転入してきた世帯等に対して、住宅取得に対する補助を行うことで転出抑制を図る事業であるため、引き続き、事業を実施することで、定住人口の増加につなげていく。	C	制度内容については現状のまま継続で考えている。現在は新築物件のみを補助対象としているが、中古物件についての問合せもあることから、他の補助制度と合わせて、補助対象についての見直しを検討する。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	住みやすいまちづくりを推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	新たに「あつまれ新婚さん新生活応援金交付事業」を開始し、子育て世代の定住促進に努めており、今後、その効果を検証していくことで、社会増減の改善を図っていく。 また、お試し移住事業を拡大することで更なる転入者の拡大を図る。		
			担当部	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
あいおい暮らし お試し移住事業	定住促進室	3,662,145	2,735,174	6,397,319	B	お試し住宅は、移住希望段階の人に相生市での生活を実際に体験していただける事業であり、定住促進を図る最初事業であるため、引き続き、事業を実施していく。	C	これまでと違った物件の確保又は体験プログラムの追加を検討することで、幅広い移住希望者のニーズに対応し、移住者の増加へとつなげていく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	あいおいアクアポリス事業、定住者住宅取得奨励金交付事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②社会の変化に対応する組織と体制の充実

取り組み事項	行政改革を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	今後は、行政評価の結果を実施計画・予算・人員配置等に反映できる仕組みづくりを研究していき、社会の変化に対応した行政改革を推進し、質の高い行政サービスにつなげる。			
			担当部	企画総務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
教育特区事業	企画広報課	3,136,449	77,500	3,213,949	B	特区制度に基づく学校設置に関して、一定の成果があるものとする。また、学校運営に関しても効率的に実施できているものとする。	B	特区制度を活用して、学校が設置され一定の成果を挙げている。また、学校運営は民間、学校の評価については、学校設置審議会を活用と役割が明確化されており効率的に実施できている。	
行政評価システム推進事業	企画広報課	4,436,928	2,115,240	6,552,168	C	構成事務事業の優先度等を評価する施策評価と事業自体の成果を評価する事務事業評価によって行政評価を行っており、効率的効果的な行政経営に寄与しているものとする。今後は、行政評価の結果を実施計画・予算・人員配置等に反映できる仕組みづくりを研究していく。	C	新たな総合計画の開始に伴い、評価体制についても見直しを図った。今後も評価することでよりよい事業への改善を図れるような仕組みづくりを研究しながら、継続する。	
行政改革事業	企画広報課	1,988,968	0	1,988,968	C	行革推進委員会の運営手法等について検討を進め、引き続き、行政改革事業を推進していくべきとする。	C	委員の募集方法・開催方法についてもさらに検討を進めた上で、引き続き、行政改革事業を推進していく。	
構成事務事業名 (評価対象外)	総合計画策定事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	職員の資質向上を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	研修計画に基づき、役職に応じた階層や経験年数等に合わせた研修体系により、計画的に研修を実施した。派遣研修では、対面・オンラインにより効率よく受講することができた。また、相生市人材育成基本方針に基づき、社会情勢の変化に対応する人材を育成するため、庁内の管理・監督職から委員を選定した研修委員会を開催し、高い研修効果を得られるよう、各研修の内容について検討・見直しを図った。結果として、受講対象者に対して、適正に研修を実施し、研修後の受講者の理解度・達成度も高く、施策成果指標において、概ね目標を達成できた。今後については、更なる職員の資質を向上し、社会情勢の変化や市民ニーズに沿った内容となるよう、研修委員会や、受講アンケート結果を活用し、研修メニュー、研修機関等の検討・見直しを常に行い、研修の効果を高めていく。				
			担当部	企画総務部						
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価			
					方向性	所見		方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	情報公開・個人情報保護等事業、農業総務費人件費、職員研修事業、遺族年金事業、文書事務管理事業、福利厚生事業、労務管理事業									

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	電子自治体の推進		施策の総合評価	A	課題 方向性	先進自治体の事例等を参考に、行政手続きオンライン化の対象となる業務拡充に向けた、庁内調整を継続実施する。			
			担当部	企画総務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	基幹系システム管理運営事業、情報系システム管理運営事業、ICT推進事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	広域行政を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	複雑多様化する社会の変化に迅速に対応するため、また、広域的な行政課題に対応するため、引き続き、広域的なネットワークを維持し、持続可能で十分な市民サービスを提供できる組織を目指す。			
			担当部	企画総務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	西はりま消防組合事業、特定用地管理委託事業、安室ダム水道用水供給事業、西播磨水道企業団事業、広域行政事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

③安定した行政経営基盤の確立

取り組み事項	健全な財政運営を行う		施策の総合評価	A	課題 方向性	令和7年度までの5か年計画である第4期行財政健全化計画に基づき、少子高齢化による社会保障費や公共施設の老朽化に伴う更新経費等の増加への対応や、近年全国で頻発している大規模災害への備えも必要となり、将来にわたり必要な行政サービスを安定して提供していくため、引き続き行財政健全化を進め、堅実で持続可能な財政運営に努める。			
			担当部	財務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	財政調整基金事業、減債基金事業、庁舎建設基金事業、市民病院事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	公有財産の活用と管理を推進する		施策の総合評価	D	課題 方向性	売却可能地については、広報やホームページに掲載し周知しているが売却に繋がっていないため、未利用市有地(売却可能地)の民間による活用提案を検討、実施する必要がある。また、市として市有財産の把握を行った上で、利活用に関する基本方針や計画を作成する必要がある。		
			担当部	財務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
市有財産管理 事業	財政課	10,556,830	129,922,247	140,479,077	C	市有財産の有効活用施策の検討を進め、計画的な維持保全が必要である。	C	市として、市有財産の利活用に係る方針等を策定し、利活用できる普通財産を把握、整理し、計画的に活用・処分していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	庁舎管理事業(管財)、公用車両管理事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	公平な課税と納税意識の高揚を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	システムを有効に活用して課税調査を行った。預金調査システム等を活用して積極的な滞納整理を進めた。			
			担当部	財務部					
構成事業事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事業事業名 (評価対象外)	国民健康保険事業(徴収)、税務総務費事務経費、賦課徴収費事務経費(市民税等)、賦課徴収費事務経費(固定資産税)、賦課徴収費事務経費(徴収)、介護保険事業(徴収)、後期高齢者医療保険事業(徴収)、介護保険事業(徴収)、介護保険事業(徴収)、後期高齢者医療保険事業(徴収)、国民健康保険事業(徴収)、国民健康保険事業(徴収)、国民健康保険事業(徴収)、国民健康保険事業(徴収)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

④その他

取り組み事項	その他		施策の総合評価		課題 方向性					
			担当部	企画総務部						
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見		
構成事務事業名 (評価対象外)	国民年金事業、一般管理費事務経費(財政)、一般管理費事務経費(秘書)、財産管理費事務経費、企画費事務経費、事故等賠償事業、公債費元金償還事業、公債費利子償還事業、予備費、職員退職手当基金事業、統計調査事務事業、工業統計調査事業、経済センサス事業、厚生労働統計調査事業(市民)、戸籍住民基本台帳等事務事業、議会費事務経費、議会活動事業、会議録作成事業、議会報作成事業、選挙管理委員会費事務経費、市長選挙執行事業、監査委員事務事業、公平委員会費事務経費、一般管理費事務経費(出納)、会計管理事業、国勢調査事業、農林業センサス事業、固定資産評価審査委員会事務経費、市議会インターネット配信事業、県補助金等返還事業、国庫補助金等返還事業、衆議院議員選挙及び最高裁国民審査執行事業、知事選挙執行事業、県議会議員選挙執行事業、参議院議員通常選挙執行事業、市議会議員選挙執行事業、一般管理費事務経費(総務)、市税等過誤納金還付事務事業、諸費事務経費(総務課)、庁舎管理事業(総務)、マイナポイント事業									